ヌエバ

NUEVA

革新の42枚パネル

日本リーグ唯一の公式試合球

あなたなら、どうたたかう・・

NUEVA FORTY TWO

PAT.PENDING 42 PANELS

molten 42H301 SIZE 3

国際公認球 検定球

42H301WBK
42H201WBK・WR
●手縫い ●天然皮革 ●42枚パネル

SBHB作戦盤

検定球

HSH1
●手縫い ●天然皮革 ●1号球

小学校試合球

国際公認球 検定球

42H310WBK・42H210WBK/WR
●手縫い ●天然皮革 ●42枚パネル

全国中学校大会試合球

molten®

株式会社 モルテン

東京本社 東京都墨田区横川5丁目5番7号 TEL(03)3625－7581(代)
東京・大阪・名古屋・福岡・広島四国・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフG

巻頭言

全員参加でハンドボール文化の構築を

日本ハンドボール協会専務理事

市原　則之

現在、地球規模での三大イベントは、オリンピックとワールドサッカーと世界陸上であると言われ総てスポーツ界が独占しています。これらイベントの成功が、開催国に活性化を生み、同時に世界平和にも大きく貢献されているからだと思いますが、そのため、世界的ビッグなスポーツイベントは、年々し烈な招致合戦を展開しております。

記憶に新しい好例は、前者が長野オリンピックとフランスのワールドサッカーで、また後者の大阪市も2008年のオリンピック開催に向けて、全市民レベルで招致合戦を繰り広げていることは周知の通りであります。

一般的に、スポーツ大会の盛上がりは競技者の活躍が不可欠でありますが、近年のビックイベントは、選手と同等に審判や役員が競技への参加意識を高め、多くのボランティアも補助員として運営に参加し、同時に、競い合う選手にフェアな声援おくる観衆もこれに同化して参加に酔い、また、この活躍を温かく各地に送り出すメディアの参加で、茶の間も参加に誘い、これら沢山の人々の参加によってその目的を達成させております。

こうした一大イベントの成功が、地域社会に密着した真の国民スポーツとして醸成され、これがやがてスポーツ文化の発祥の芽生えとなっております。

従って、私共ハンドボール界もこの流れに取り残されることなく、早急に現行の登録制度の見直しを行い、選手・審判・役員・OBなどに限らず新たなサポーターも募って、沢山の愛好者に会員となっていただき、全員参加のもとでメジャー化を図り、ハンドボール文化の構築に向かって邁進したいと考えております。既に、この主旨は先の全国理事会や全国評議員会でもお話させて頂き、大変ありがたくも大筋でご賛同を頂き、同時に励ましのご支援を得ているころであります。

新登録制度の必要性とメリットは数多くありますが、中でも、少子化の影響などで登録人口が減少傾向の現在、登録数の増加は各方面への影響に大なるものがあります。

日体協は、肥大化する国民体育大会の改革に、総参加数を登録人口によって割り振ろうとし、強化財源の助成をするJOCもメジャースポーツの目安を10万人以上とし想定し、また、この経済環境の厳しい中でのスポンサーも、登録人口が10万人未満では支援対象として難色を示すであろうし、従って、競技会の観客増員と共に登録人口の増加は必要不可欠であります。

次に、登録人口が増加すれば、当然増収となります。登録金について現在財務委員会で検討中でありますが、何れにしろ現況の財源では協会運営に明日がありません。小・中学校の普及はもとより、ビーチやマスターズや車椅子ハンドの支援、少子化対策のためにミニハンドボール競技の導入、また、強化の根幹であるジュニア層の高校・大学生にも徹底した重点強化、そして、各大会の補助金アップや国際大会の招致等枚挙に暇がありません。

以上を、ハンドボール愛好者の皆様にご理解いただき全員参加のもとでハンドボール文化の構築をと願っております。格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第3回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

☆男子は香川クラブが3連覇　☆女子は徳山クラブが初優勝

第3回ジャパンオープンハンドボールトーナメントは、第53回国体リハーサル大会として、8月6日より9日まで、熊本県山鹿市総合体育館、オムロン鹿陽センター、鹿本町民体育館、鹿央町公民館に於いて、連日の猛暑の中熱戦が繰り広げられた。（トーナメント表は前号参照）

【男子の部】

男子の部は、全国9ブロックの予選を勝ち抜いた32チームによって争われた。大会は過去この大会2連覇を飾っている第1シードの香川クラブを中心に展開された。全日本総合で日本リーグ勢を破った実績のある香川クラブは、各試合危なげなく勝ち進んだ。唯一香川クラブを脅かしたのは、準決勝でのコザクラブぐらいであった。

決勝戦は昨年と同様の、香川クラブ対第2シードの福島クラブとの対戦となった。福島クラブは連日の猛暑と連戦のためか、動きに精彩がなく大味なゲームとなったことは残念であった。

結果、香川クラブがこの大会3連覇を飾り、教職員選手権の実績を加えると、全国大会7年連続の優勝という快挙を成し遂げている。加藤、田中、後藤、河合選手らのプレーは円熟味を増してきており、今年後半の国体、全日本総合などでの活躍が期待されるところである。

1回戦で注目されたのは、ＳＯＣＩＯ大阪対国体を控えた神奈川県代表のゆめクラブの一戦であった。国体を控え着々と強化の進むゆめクラブではあったが、ＳＯＣＩＯ大阪の身長168cmという池野のブラインドシュートが止めきれず、惜しくも敗退をした。

このほか注目されるチームに、ケーブルネット氷見が挙げられる。ケーブルネット氷見は全体に身長はないが、屋敷、中川などのスピードとテクニックでベスト8まで勝ち進んだ。

《過去の決勝戦より》

第1回　香川選抜　37−24　ケー・エフ・シー
第2回　香川クラブ　29−25　福島クラブ

《準決勝》

福島クラブ　29（12−15、17−11）26　大同クラブ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[大同クラブ]				[福島クラブ]	
1	柳川	0	0	越智	1
2	柳川	2	3	益崎	2
3	酒匂	4	2	小林	3
4	内藤	5	7	花島	5
6	市川	2	0	丹羽	7
7	阿萬	1	2	小俣	8
9	清崎	0	0	石井	9
10	久米	0	8	矢作	10
11	海江田	4	7	新方	11
13	横浜	2	0	野地	12
14	名取	6			
16	林	0			
		26	29	計	

[戦評] 前半は一進一退の展開が続いた。両チーム共速攻による点はあまりなかったが、セットプレーではロング、ポストなど多様な攻撃が見られたが、ロング、ポストと決め手を持つ大同クラブが3点差をつけて前半を折り返す。後半、福島クラブも速攻などで徐々に追い上げ、10分過ぎに逆転、その後は福島クラブがそのまま勢いに乗り29−26で勝ち決勝に駒を進めた。

香川クラブ　29（13−11、16−9）20　コザクラブ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[香川クラブ]				[コザクラブ]	
1	高木	0	1	徳村	2
2	加藤	1	2	与那覇	3
3	田中	5	3	嘉陽田	4
4	後藤	5	0	宮里	5
5	高畠	8	5	平良	7
6	高尾	0	1	渡久地	8
7	河合	8	2	宮里	9
8	平田	2	1	稲福	10
9	増本	0	0	島袋	11
11	上原	0	4	根路銘	13
12	正木	0	1	神里	15
			0	新川	16
		29	20	計	

[戦評] 試合開始早々、香川は2本の7mスローをコザのGK新川に好セーブされ、苦しい立ち上がりとなった。一方コザは、チャンスを確実に得点に結び付け、一時は4点差をつけたが、徐々に香川に詰め寄られ、23分には逆転を許し、13対11と香川に2点リードで前半を折り返した。後半は両チームのGKの好セーブで1点を争う展開となったが、残り10分から香川がコザを突き放し、29対20で香川が勝利を飾った。

《3位決定戦》

大同クラブ　24（14−10、10−11）21　コザクラブ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[コザクラブ]				[大同クラブ]	
2	徳村	2	0	柳川	1
3	与那覇	0	0	柳川	2
4	嘉陽田	2	5	酒匂	3
5	宮里	1	6	内藤	4
6	上原	0	0	市川	6
7	平良	3	0	阿萬	7
8	渡久地	4	0	清崎	9
9	宮里	1	2	久米	10
10	稲福	2	7	海江田	11
13	根路銘	6	1	横浜	13
15	神里	0	3	名取	14
16	新川	0	0	林	16
		21	24	計	

[戦評] 前半立ち上がり両チームとも固さが見えたが、徐々にエンジンがかかりはじめ、大同クラブは海江田、コザは根路銘などで加点するなど好ゲームとなった。後半も両チームの持ち味であるセットプレーを中心に一進一退のゲームが続いたが、決定力に勝る大同クラブがコザを降した。終盤コザが追い上げを見せただけに惜しい試合だった。

《決勝》

香川クラブ 37（19−12、18−12）24 福島クラブ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[香川クラブ]			[福島クラブ]		
1	高木	0	1	越智	1
2	加藤	3	3	益崎	2
3	田中	4	3	小林	3
4	後藤	5	3	花島	5
5	高畠	4	0	丹羽	7
6	高尾	1	8	小俣	8
7	河合	10	0	石井	9
8	平田	9	3	矢作	10
9	増本	0	3	新方	11
11	上原	1	0	野地	12
12	正木	0			
	計	37	24	計	

【戦評】前半立ち上がりから香川クラブはセット、速攻と多様な攻めを見せ、福島クラブを圧倒。福島クラブも益崎、小俣らで加点していくが、シュートミスなどを逆速攻につなげられ、19−12と香川クラブの7点リードで前半を折り返す。後半も香川クラブの勢いは止まらず、河合らで確実に加点、一方福島クラブも必死に食い下がるが、実力に勝る香川クラブが37−24で3年連続優勝に輝いた。

【女子の部】

女子の部は、全国9ブロックから予選を勝ち抜いた16チームで争われた。大会は前年度優勝のかながわガビアーノを中心に、第1回優勝の熊本クラブ、自衛隊体育学校で争われると思われたが、前オムロンの田村、前ジャスコの土師に、琴野らをそろえた徳山クラブが、かながわガビアーノ、熊本クラブを連破し初優勝を飾った。

1回戦では、香川銀行T・H対コスモスビッキーズが、7mTCにもつれ込む大激戦となった。香川銀行T・Hは、前半6−10の劣勢を、小林、寺前らの踏ん張りで延長戦に持ち込んだ。延長戦で香川は優位に試合を進めたが、残り1秒サイドからコスモスビッキーズの富松に決められ7mTCにもつれ込んだ。7mTCも、3人では勝負がつかず、サドンデスの末、8−7で香川が勝利をものにした。

準決勝は、第1回大会の決勝対決の熊本クラブ対自衛隊体育学校と前年優勝のかながわガビアーノ対徳山クラブの対戦となった。熊本クラブ対自衛隊体育学校の対戦は、自衛隊体育学校が雪辱を期しての戦いであったが、後半の一気の攻めで熊本クラブが決勝に駒を進めた。一方、かながわガビアーノ対徳山クラブの一戦は、かながわガビアーノの前半の拙攻がたたり、徳山クラブの決勝進出となった。

〈過去の決勝戦より〉

第1回
熊本クラブ 30−26 自衛隊体育学校

第2回
かながわガビアーノ 17−16 メガトンズ

《準決勝》

熊本クラブ 29（14−13、15−11）24 自衛隊体育学校

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[熊本クラブ]			[自衛隊]		
1	荒木	0	0	今井	1
2	富田	3	2	高嶺	2
3	中山	5	0	田中	3
4	森田	8	2	松井	4
5	鋤崎	1	3	井上	5
6	中山	5	2	久保	7
8	山田	0	3	本郷	8
9	高橋	0	5	上野	9
11	山下	2	6	森下	10
12	坂口	0	0	小松	11
14	岡村	0	1	池田	13
15	中林	5	0	甲斐	14
	計	29	24	計	

【戦評】セットプレーを中心に攻める熊本クラブと堅いディフェンスからの速攻が中心の自衛隊体育学校は、序盤から一進一退の攻防を繰り返し、好ゲームを展開。14−13の熊本リードで前半を折り返す。後半に入り、徐々にペースを掴んだ熊本クラブは相手のミスから連続得点を重ね、自衛隊体育学校を大きく突き放した。終盤の自衛隊の猛攻を振り切り、29−24で熊本クラブが勝利を飾った。

徳山クラブ 19（9−5、10−12）17 かながわガビアーノ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[かながわ]			[徳山クラブ]		
1	荒川	0	0	小林	1
2	小暮	2	0	日坂	3
3	柳原	2	0	泉谷	4
4	児玉	2	2	小林	5
5	小澤	1	3	田村	8
6	志田	1	0	琴野	9
7	村上	3	4	川井	10
8	福島	1	0	中川	12
9	阿部	2	4	土師	13
10	安留	3	2	飯田	14
11	亀ケ谷	0	4	王野	15
13	秋元	0	0	尾下	16
	計	17	19	計	

【戦評】前半立ち上がりは互角の戦いだったが、徳山クラブの高く強いディフェンスの前にかながわガビアーノは7分の村上のサイドシュート以後20分間無得点に終わる。前進終了間際、かながわは速攻で2連続得点をし、後半に望みをつないだ。後半かながわは安留の速攻やポストを使った粘り強い攻撃で猛攻をしかけ、後半19分ついに追いつく。残り30秒、1点を追うかながわはオールコートプレスで必死に食い下がるも、徳山クラブ・田村のシュートで力尽きた。

《3位決定戦》

かながわガビアーノ 22（11−11、11−9）20 自衛隊体育学校

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[かながわ]			[自衛隊]		
1	荒川	0	0	今井	1
2	小暮	3	5	高嶺	2
3	柳原	4	1	井上	5
4	児玉	1	3	山岡	6
5	小澤	2	1	久保	7
6	志田	2	1	本郷	8
8	福島	1	0	上野	9
9	阿部	4	7	森下	10
10	安留	2	0	小松	11
11	亀ケ谷	3	0	西木場	12
12	磯	0	0	池田	13
13	秋元	0	2	甲斐	14
	計	22	20	計	

【戦評】立ち上がりから両チーム、フットワークの良いパス回しで攻防を繰り広げ、互いに譲らず、前半15分6対6。その後も互いに得点を重ね11対11で前半を折り返す。自衛隊は高嶺を中心にした攻撃、一方のかながわは柳原を中心に両45度を使った攻撃で一進一退の展開。後半10分かながわはポスト、速攻と4連続得点をあげ、自衛隊も森下のミドルで必死に食い下がったが及ばず、22対20でかながわが勝利した。

《決勝》

徳山クラブ 33（20−10、13−16）26 熊本クラブ

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
[熊本クラブ]			[徳山クラブ]		
1	荒木	0	0	小林	1
2	富田	2	0	鈴木	2
3	中山	4	1	日坂	3
4	森田	8	5	小林	5
5	鋤崎	2	0	飯田	7
6	中山	4	5	田村	8
8	山田	0	7	琴野	9
10	田中	3	3	川井	10
11	山下	0	0	中川	12
12	坂口	0	2	土師	13
13	山田	0	7	飯田	14
15	中林	3	3	王野	15
	計	26	33	計	

【戦評】決勝戦ということで固くなったのか、両チームとも立ち上がりよりミスが目立った。先に調子づいたのは徳山クラブ。飯田のポストシュートや琴野の長身を活かしたロングシュートなど2人で12得点をあげ、リズムに乗れない熊本クラブを20対10と10点リードして前半を折り返した。後半、熊本クラブも森田のロングや相手ミスからの速攻で残り10分5点差まで詰め寄るが、前半の10点差が大きく響き、33−26で徳山クラブが初優勝を飾った。

第27回 全国中学校ハンドボール大会

『光る汗　伝説となれ　この地宮城で』

―第27回全国中学校ハンドボール大会を終えて―

第27回全国中学校ハンドボール大会実行委員会事務局長　菊地　敬一郎

1　はじめに

平成10年度全国中学校体育大会・第27回全国中学校ハンドボール大会が「光る汗　伝説となれ　この地宮城で」のスローガンのもと、8月18日から21日までの4日間、全国9ブロックの代表40チームが参加して仙台市体育館で開催されました。

今大会が宮城県で開催されるのは初めてのことで、しかも、県内のチーム数が20チームと少ない宮城県中体連ハンドボール専門部としては、運営面等で多くの不安材料を抱えての準備のスタートでした。しかし、(財)日本中体連、(財)日本ハンドボール協会、宮城県教育委員会及び仙台市教育委員会、宮城県中体連や宮城県ハンドボール協会、さらには数多くの関係機関、団体各位の多大なるご支援、ご協力により無事開催までこぎつけることができました。

2　大会全般を通して

大会は1回戦から接戦の連続で、特に女子については19試合中5試合が延長戦、また、男女準決勝4試合すべてが1点差のゲーム、決勝についても男女ともに僅差のゲームと、最後の最後まで勝利がどちらに転ぶかわからないほどの熱戦が繰り広げられ、興奮のうちに大会を終了することができました。

その中で、男子優勝の大阪市立市岡中学校・女子優勝の四日市市立羽津中学校は、優れた技術はもちろん、苦しい場面でも自分たちのハンドボールを忘れることなく戦いつづけた精神力には大いに感心させられました。ともに初優勝ではありますが、素晴らしい優勝であったと思います。心からお祝いを申し上げます。

なお、今大会の優秀選手に選出された選手は次の通りです。

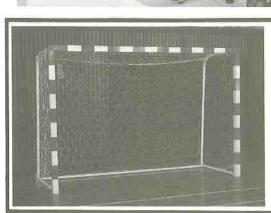
〈男子〉　北仲　亙君（市岡東・GK）、小島康次君（市岡東）、佃宗一郎君（市岡東）阿南優一君（高杉）、西垣正彦君（高杉）、山本圭介君（八幡）、東長濱秀作君（浦西）

〈女子〉田中里奈さん（羽津・GK）、黒宮　愛さん（羽津）、水谷加奈さん（羽津）、小河内　愛さん

DJ1021 ハンドボール用ゴール　折畳み式　(組)¥361,000

●高さ2080 幅3160 奥行1300mm 重量60kg 床止め金具・打込み杭付 ネット別

●クロスバー、ポストはアルミパイプ製80角で方杖はφ40です。

Senoh®

セノー株式会社

本社／東京都品川区南品川2-2-13

☎(03)5461-4111

（明野）、工藤麻衣さん（明野）、花岡智子さん（大正東）、西銘奈々子さん（神森）

3　終わりに

今年、東北では「梅雨明け宣言」が出されず、大会期間中も夏の太陽が照りつけることはほとんどなかったものの、会場内では若さあふれる好試合の連続で、まさに夏の熱い戦いが繰り広げられました。選手のみならず、応援の保護者の方々のマナーもよく、大会運営をする側も十分に大会を楽しめたのではないかと思います。

素晴らしい思い出を残してくれた選手の皆さん、大会関係者の皆さんに感謝するとともに、来年度の長野大会の成功を祈念して御礼のことばとさせていただきます。

第27回　全国中学校ハンドボール大会
男子は市岡東（大阪）、女子は羽津（三重）に栄冠

男子

■準決勝

高杉（愛知）19（8−11、11−7）18 浦西（沖縄）

［高杉］番号	氏名	得点	得点	氏名	［浦西］番号
1	高原	0	0	比嘉	1
2	阿南	8	0	富山	2
3	橋本	0	0	田本	3
4	西村	0	0	兼浜	4
5	藤村	2	1	石川	5
6	高山	4	5	島袋	6
7	西垣	4	8	東長濱	7
8	軽尾	0	2	平原	8
9	久田	0	0	金城	9
10	岡本	1	0	宮国	10
11	樋田	0	1	照屋	11
12	浜	0	0	棚原	12
13	安井	0	0	久保田	13
14	犬飼	0	0	棚原	14
15	八神	0	1	棚原	15
	計	19	18		

【戦評】男子準決勝の第1試合は、浦西・東長濱と高杉・阿南の両長身フローターのロングシュートで始まった。その後、高杉は西垣のポスト、速攻などで得点、一方浦西は東長濱のロングを中心に得点し、11−8と浦西の3点リードで前半を終了した。後半10分すぎに高杉は高山の7mスローで同点に追いつくと、その後は一進一退の攻防が続いたが、残り1分30秒のところで浦西に退場が出て、最後は高杉・阿南のロングが決まり、19−18の1点差で高杉が逃げ切って決勝に進出した。

市岡東（大阪）18（8−8、10−9）17 八幡（愛知）

【戦評】前半、両チームとも攻守の切り替えが早く、互いに速攻に出るもののディフェンスの戻りが早く、なかなか得点に結びつけることができない。同点で始まった後半も互角の戦いであった。八幡は市岡東のフリースローフォーメーションやロングシュートを守り、速攻に出るがシュートまで行けず、ポストプレー等で得点する。一方、市岡東は最後まで積極的な気持ちで攻め、各選手がシュートを打ち得点し、せり勝った。

［市岡東］番号	氏名	得点	得点	氏名	［八幡］番号
1	高橋	0	0	福島	1
2	太田	1	1	谷奥	2
3	岡	0	7	山本	3
4	小島	9	2	田中	4
5	田畑	3	0	伊藤	5
6	山本	0	3	伊藤	6
7	小西	0	0	鬼頭	7
8	谷口	0	3	板野	8
9	出口	0	0	野間	9
10	勝木	0	0	細野	10
11	久保	2	1	浅野	11
12	北仲	0	0	榊原	12
13	中森	0	0	大野	13
14	里井	0	0	辻田	14
15	佃	3	0	小牧	15
	計	18	17		

■決勝

市岡東（大阪）18（10−7、8−9）16 高杉（愛知）

［高杉］番号	氏名	得点	得点	氏名	［市岡東］番号
1	高原	0	0	高橋	1
2	阿南	5	0	太田	2
3	橋本	0	0	岡	3
4	西村	0	6	小島	4
5	藤村	0	3	田畑	5
6	高山	7	0	山本	6
7	西垣	3	0	小西	7
8	軽尾	0	0	谷口	8
9	久田	0	0	出口	9
10	岡本	1	3	勝木	10
11	樋田	0	2	久保	11
12	浜	0	0	北仲	12
13	安井	0	0	中森	13
14	犬飼	0	0	里井	14
15	八神	0	4	佃	15
	計	16	18		

【戦評】前半、市岡東はゲームメーカー佃の華麗で芸術的なパス回しからチャンスをつくり、エース小島の切れのあるミドルシュートなどで着実に得点を重ねリードする。一方高杉もエース阿南の打点の高いロングシュートなどで必死に食い下がり、10−7と市岡東が3点リードして折り返す。後半も高杉は、キャプテン高山が鋭いカットインを見せるなど一時1点差まで迫ったものの、連戦の疲れからかめっきり運動量が落ち、徐々に失速。結局、最後まで逆転を許さない安定したゲーム運びを見せた市岡東が2点差をつけて勝ち、全国の頂点に立った。

【最終順位】

優　勝　市岡東（大阪）
準優勝　高　杉（愛知）
3　位　浦　西（沖縄）
3　位　八　幡（愛知）

そこに大同特殊鋼がいるから。
ほら、ね。宇宙の夢もどんどん近くなる。

私たちは、航空宇宙や自動車、
エレクトロニクス、エンジニアリングなど、
さまざまな分野で未来を拓いています。

大同特殊鋼
DAIDO STEEL
本　社　〒460-0003名古屋市中区錦1丁目11-18（興銀ビル）
東京本社　〒105-0003東京都港区西新橋1丁目7-13（大同ビル）
大阪支店　〒541-0043大阪市中央区高麗橋4丁目1-1（興銀ビル）

女子

■準決勝

羽津（三重） 8 ［4−3　3−4　（延長）0−0　1−0］ 7 大正東（大阪）

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
	［大正東］			［羽津］	
1	国本	0	0	田中	1
2	花岡	2	0	服部	2
3	知念	2	0	廣瀬	3
4	上柳	1	1	川合	4
5	内門	1	0	谷村	5
6	下鶴	0	4	黒宮	6
7	大森	0	3	山本	7
8	津村	1	0	伊藤	8
9	三浦	0	0	水谷	9
10	倉本	0	0	藤本	10
11	武藤	0	0	赤塚	11
12	小川	0	0	濱本	12
13	小松	0	0	田室	13
14	岡山	0	0	平野	14
15	坂口	0	0	杉本	15
		7	計 8		

［戦評］羽津はディフェンスで粘りを見せて少ない速攻のチャンスをものにして得点を重ねていく。大正東はボールをキープするものの1対1にこだわり過ぎるあまり得点できず苦しむ。後半になり羽津は相手のお株を奪うセットプレーを見せて5、6分と連続ポイントを取るが、9分に1人退場者が出てしまい、そこから大正東が3連続ポイントを奪い同点にする。その後も両チームなかなか決定的チャンスを作ることができず1点ずつを取り合い同点のまま延長戦に入る。延長戦、両チームとも1人1人退場者を出すが羽津がチャンスに7mスローを確実に得点し勝利を収めた。両チームとも50分間一生懸命がんばったことに拍手を送りたいと思う。

番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
	［神森］			［明野］	
1	田中	0	0	高山	1
2	島袋	7	6	小河内	2
3	名嘉	6	9	工藤	3
4	上原	6	0	稙田	4
5	西銘	5	3	利光	5
6	大城	4	0	阿部	6
7	照屋	2	1	中谷	7
8	長嶺	0	9	毛下	8
9	作取	0	0	澤田	9
10	福元	0	0	佐藤	10
11	中村	0	3	田原	11
12	仲間	0	0	柳井	12
13	東濱	0	0	伊藤	13
14	豊見山	0	0	矢張	14
15	石川	0			
		30	計 31		

［戦評］明野はスタートからペースをつかみ4点を一気に得点した。ディフェンスも連携のある守りをし神森の攻めを封じていたが、神森はカットイン、ポストシュートを決め、神森がペースをつかみだし点数を重ねていき、スピードあるプレーで良い展開に持ち込んだ。前半は14−10と神森のリードで終わる。後半、明野は徐々にペース

《男子の部》

大阪市立市岡東中学校

決勝：16　18（7−10　9−8）

準決勝：19　18（8−11　11−7）／18　17（8−8　10−9）

準々決勝：25　11（13−5　12−6）／29　20（17−8　12−12）／18　20（9−10　9−10）／22　12（14−5　8−7）

2回戦：22　16（13−4　9−12）／14　17（4−8　10−9）／20　23（11−12　9−11）／22　15（7−9　15−6）／16　22（8−11　8−11）／12　17（5−9　7−8）／22　25（8−10　14−15）／23　20（13−12　10−8）

1回戦：19　13（7−5　12−8）／20　21（10−11　10−10）／11　19（6−11　5−8）／14　17（7−7　7−10）

1 高杉（愛知）
2 高砂（兵庫）
3 甘楽第二（群馬）
4 中田（開催県）
5 宇賀の浦（北海道）
6 通津（山口）
7 浦西（沖縄）
8 豊中十三（大阪）
9 西條（富山）
10 けやき台（茨城）
11 氷見北部（富山）
12 片山（広島）
13 本渡（熊本）
14 大垣東（岐阜）
15 市岡東（大阪）
16 神森（沖縄）
17 八幡（愛知）
18 横浜（高知）
19 蓮田（埼玉）
20 石川（福島）

をつかみだし、確実にシュートを入れ、同点まで追い上げると両校スピードのある攻防が続く。神森はペースがつかめずにいたが、同点で後半も終わり延長に持ち込む。GK高山の好守も光った。延長は、前半は両校点数を重ねて同点で終わるが、明野が後半、積極的な攻めで神森を崩していき、31－30と接戦の末勝利をものにした。

■決勝

羽津（三重）16（9－6 / 7－9）15 明野（大分）

[明野] 番号	氏名	得点	[羽津] 得点	氏名	番号
1	高山	0	0	田中	1
2	小河内	5	0	服部	2
3	工藤	1	0	廣瀬	3
4	植田	0	2	川合	4
5	利光	0	4	谷村	5
6	阿部	0	3	黒宮	6
7	中谷	7	0	山本	7
8	毛下	1	1	伊藤	8
9	澤田	0	6	水谷	9
10	佐藤	0	0	藤本	10
11	田原	1	0	赤塚	11
12	柳井	0	0	濱本	12
13	伊藤	0	0	田室	13
14	矢張	0	0	平野	14
			0	杉本	15
		15	計 16		

【戦評】両チームとも決勝戦という固さが見られず、スピーディなゲーム展開となる。明野は小河内のカットインからのシュートで得点を重ね、一方、羽津は明野の3－2－1のディフェンスに対し、ポストを使った攻撃から得点し、前半を9対6と羽津の3点リードで終わる。後半に入って、羽津が3連続得点し、羽津のペースで後半も進むかと思われたが、明野の両サイドからの得点が決まり始め、残り1分を切ったところで、明野が羽津に追いつく。しかし、残り10秒を切ったところで羽津のサイドからのシュートが決まりゲームが終了した。

【最終順位】

- 優勝 羽津（三重）
- 準優勝 明野（大分）
- 3位 大正東（大阪）
- 3位 神森（沖縄）

《女子の部》

四日市市立羽津中学校

番号	チーム
1	住吉（山口）
2	名塚（愛知）
3	仲西（沖縄）
4	大正東（大阪）
5	大増（埼玉）
6	椿（愛媛）
7	西多賀（開催県）
8	大蔵（兵庫）
9	氷見十三（富山）
10	羽津（三重）
11	住吉第一（大阪）
12	鬼怒（茨城）
13	神森（沖縄）
14	真備（岡山）
15	松園（岩手）
16	氷見南部（富山）
17	明野（大分）
18	日枝（岐阜）
19	富岡南（群馬）
20	宇賀の浦（北海道）

対戦	得点	前半・後半（延長）
名塚 － 仲西	14－13	6－8、8－5
住吉 － 名塚	20－17	9－11、7－5（延長）2－0、2－1
大正東 － 大増	17－6	9－2、8－4
椿 － 西多賀	16－14	5－7、7－5（延長）3－1、1－1
大蔵 － 氷見十三	13－17	5－9、8－8
氷見十三 － 羽津	11－19	5－7、6－12
鬼怒 － 神森	14－16	6－8、8－8
住吉第一 － 神森	14－16	6－6、6－6（延長）1－3、1－1
真備 － 松園	16－14	8－8、8－6
氷見南部 － 明野	11－30	6－16、5－14
日枝 － 富岡南	16－9	10－3、6－6
日枝 － 宇賀の浦	11－3	3－2、8－1
住吉 － 大正東	12－22	6－9、6－13
椿 － 羽津	5－14	3－10、2－4
神森 － 真備	24－7	13－4、11－3
明野 － 日枝	26－16	15－8、11－8
大正東 － 羽津	7－8	3－4、4－3（延長）0－0、0－1
神森 － 明野	30－31	14－10、10－14（延長）4－4、2－3
羽津 － 明野	16－15	9－6、7－9

平成10年度全国高等学校総合体育大会
高松宮賜杯　第49回全日本高等学校
ハンドボール選手権大会を終えて

北岡大覺（全国高等学校体育連盟ハンドボール部委員長）

「輝こう　今この時を　君達と」のスローガンの下、徳島市立体育館をメイン競技会場として、徳島文理大学体育館、県立城北高校体育館、県立徳島商業高校体育館、そして創立120年と旧き伝統のある県立城南高校体育館の5会場コートにて行われた。

8月1日、堂々96チームの入場式に始まった日本一を競い合う全国高等学校ハンドボール選手権大会が8月7日男子決勝にて幕を閉じたのである。

生徒数の減少に伴う学校統廃合の諸問題、辛い事・自らの心と身体を鍛える事を避け嫌がる部活動離れがすすむ社会背景の中にあって、高体連のハンドボールチーム数の急減少が加速する時代背景にあって、わが国のスポーツの重要な位置を占めています。

この徳島インターハイは、21世紀に向けて世界に於ける日本の立場を明るく導き出すエネルギーとなる大会としてより発展が期待されています。

インターハイの会場は昨年の京都大会から全て体育館で行うとなっています。が、カーテンを閉め切って会場内はムンムン、会場温度40度を越える暑さ、一般応援者が気分が悪くなり、選手と審判による競技だけの問題ではなくなり、競技会場内の全ての人々の健康安全を最優先としなければならない状態となり、カーテンと窓、全てを開け放し、2階応援席も過密状態のため、競技フロアーのベンチ反対サイドを一般応援者に開放、少しでも涼しい健康的な会場作りを第一として、3回戦女子会場の徳島文理大体育館から応急的処置を行い大変喜んでいただけました。

4回戦までは空調設備がなく（5回戦準決勝から空調冷房あり）、汗でボールが滑り、選手からチェンジボールの要望が審判にあったときには、チェンジボールをおこなった（代表者会議通達）。

また、床の汗拭きのため試合が中断、再開、中断、と30秒間隔くらいで繰り返され、選手達は試合リズムを取り戻せない、応援者は盛り上がらない、観戦者は面白くない。審判はタイムを取らないと危険、取りすぎたため白熱した試合を欠いた、など空調冷房のない会場の問題点が浮き彫りになった。

最終日の女子決勝戦は、NHK教育TV放送があり、全国高体連から初めての解説者を生み、その説明は分かりやすく好評であった。この大会運営が無事に大成功裡に終えることが出来ましたのは、徳島県並びに徳島市教育委員会、徳島県ハンドボール協会、徳島県高体連ハンドボール徳島市総体実行委員会、徳島県・徳島市の皆様の御支援、御協力のお陰であることを厚く御礼を申し上げますと共に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「インターハイの審判総括」

市瀬公敬（全国高等学校体育連盟ハンドボール連盟審判長）

8月1日より徳島市で開催された平成10年度全国高校総体の審判団は全国各ブロックより選出されたペア、次期開催県、次々期開催県、それに開催県を含む地元ブロックよりの18ペア、合計36名の審判員および審判長、副審判長4名で編成した。この大会は新ルールへの対応や全国の技術統一と、これからのハンドボールの発展に重要な位置にあることを認識して大会に臨んだ。京都大会から全試合がインドア開催となりわが国の高校生のハンドボール技術は飛躍的に向上した。当然新しい戦術も開発され、よりスリリングなゲームが多くなりより高度なレフェリングが必要となった。そこで今大会はコンタクトスポーツであるハンドボールの審判をするにあたり次の事項を確認した。

1　いわゆるハンドボールプレーとラフプレー（8の4）は別のものである。
2　正当なディフェンスを評価する。
3　オフェンスの反則はすぐに笛を吹き、ディフェンスの反則にはオフェンスプレーヤーの3歩、3秒を保証する。
4　新ルールの徹底と今大会での意思統一。

以上を重点課題にした。これまでの私の経験などの事例をまじえて解説する。（ただしすべてが今大会の事例ではないことを参加された審判員の名誉のために確認しておく。）

〈1について〉

言うまでもなくハンドボールはパスやドリブルなどを使い相手のゴールにシュートし、決められた競技時間内に多くゴールインしたチームが勝つという競技である。当然その中には相手に対する動作で許されるもの、許されないもの（8の1・8の2）がある。

◎事例1　速攻時にディフェンスに反則されたが振り切って体勢を立て直してシュートにつなげた。

正　ゴールインかその他の判定（当然ゴールスロー・ラインクロスもある）の後、罰則を段階的に適用する。

誤　ゴールインしたから罰則は

なし。
誤　ゴールインしなかったら7MTを判定し、罰則はなし。
◎事例2　シュート時に右利きのシューターに対して左側方からの身体へのアタック。
正　ゴールインか7MTの判定の後、罰則を段階的に適用する。
誤　ゴールインしたから罰則はなし。
誤　7MTの判定をしたから罰則はなし。
誤　罰則を与えたからフリースロー。
誤　ボールを見ていたので左側の反則が見えなかった。

〈2について〉

正しいディフェンス（8の1）を続けるのは辛く、勇気がいるものである。こういう正当なディフェンスをするプレーヤーやチームに対しては正しく評価することがハンドボールの発展につながる。次の事例の中の正しいディフェンスに対し攻撃側のフリースローでゲームを再開するような判定はさける。
◎事例1　身長のあるロングヒッターに対しての正しいディフェンスは。
正　いわゆる「前につめて」ロングシュートを打たせないか、GKとのコンビネーションで打たせて防ぐ。
誤　シュート時に胸や腰を押す。
誤　後ろからボールに対するプレーと見せかけて腕を引っかける。
誤　アタックした後、いかにもチャージングされたような動作をする。
◎事例2　フェイント力のあるプレーヤーに対して正しいディフェンスは。
正　フットワークを使って相手のプレーを防いだり（8の1a～d）味方のプレーヤーと協力して進路を狭くする。
誤　相手に対して許されない動作をする。（8の2）
誤　抜かれた後に相手を押して、隣にいる味方プレーヤーに対するプッシングの反則のように見せかける。

〈3について〉

ディフェンスの反則に対してアドバンテージをとり3歩・3秒の保証は当然であるが攻撃の反則時にはすぐに判定をしないと新たな問題が生じる。
◎事例1　オーバーステップなどの後ジャンプシュートの動作にはいっておりシュートしてしまい退場となる。（もちろん空中でも動作はやめられるケースもあるが）
◎事例2　ゴールエリア内に転がっているシューターにボールが当たったがラインクロスの判定をせずゴールキーパーが先回りして勘違いしラインクロスをとられる。
（新しい問題は未然に防ぐ）
◎事例3　キック・チャージング・オーバーステップなどの判定（吹笛）が遅いため速攻プレーヤーのスタートが遅れてスピードハンドボールができない。積み重なるとプレーヤーやベンチから不満がでる。

〈4について〉

新ルールに対する審判員およびチームの対応は、関係方々のご努力で共通理解が得られていた。

〈その他〉
(1)本大会より立会人制度を採用した。立会人の任務のマニュアルはIHFの原文をそのまま本連盟にアレンジし使用した。立会人の任務には全国高体連役員および大会副審判長があたったが、1、2日目は酷暑の中、1日7試合という激務についていただき心より感謝申し上げたい。今後、このような大会には競技役員の一部に立会人として位置付けし大会の運営に当たっていけたらと痛感した。立会人席で任務についていると新しい課題が多く、今後立会人の具体的任務や試合管理の方法についてを作成して皆様のお役に立ちたいと思っている。

(2)優秀レフェリー
大橋幹正・俵　英生（北海道）
多田和生・中舘　豊（岩手）

支え合う励ましの中で

阿部和代（高体連専門部）

「この流れは、もはや誰の手によっても、止めることはできない。すべてが動き出した。」不安、疲労、緊張という三重の面持ちで迎えた、開会ファンファーレの瞬間。なぜか涙が後から後から溢れ、目の前のすばらしい場面が、ぼやけている。まぶしい。彼らを迎えるこれまでの時間と、各々の場面が、走馬燈のように脳裏を巡る…。

これは、私を含む事務局全員の正直な気持ちではなかったかと思います。

全国大会という、私達に与えられた任務は、余りにも大きく、想像を絶するものでした。過去に経験を持つ者は一人としておらず、素人の手さぐり状態から始まって、今この時を迎えているのですから。

徳島市内のあちこちが、ハンドボーラーに染まり、白熱の毎日が続きます。いつになく暑い徳島の夏、選手達から流れ出る滝のような汗に、モッパーが走ります。ちょっと、審判への反応が遅いかな？早く注意しておかないと。各々の係全員、この暑さの中で大丈夫かな？

全国の精鋭が繰り広げる連日のドラマは、スタッフの疲れを忘れさせ、補助員を踊りあがらせ、ハンドボールの醍醐味を徳島に吹きかけてくれるものでした。一人一人が、何かしら心に深く刻んでくれたことと信じています。

悔し涙を流し、笑い、怒り…様々なことがありました。けれども、昼は市の方々に、アフター5は、クラブの仲間に支えられ、常に私は一人でなかったことを強く感じています。

人と人とのつながりが、希薄になりつつある昨今、この大会を通して、何にもかえ難い人の温もりを得ました。「全面的に、あなたに協力します」この力強い言葉を起動力に、これまで頑張れたこと、すべての方々に感謝します。「輝こう　今この時を　君達と」

さて、次は誰と一緒に輝けるのかな！

列島縦断

インターハイの成功と県協会の歩み

徳島県ハンドボール協会理事長　長尾輝夫

◆インターハイを終えて

平成10年度全国高校総合体育大会、高松宮杯、第49回全日本高校ハンドボール選手権大会が、8月1日から7日まで徳島市で行われました。全国から二千人あまりの選手、監督が集い、熱戦が展開され、多くの成果を収め、大成功のうちに大会の幕を閉じることができました。これもひとえに日本ハンドボール協会の御理解と、全国高体連ハンドボール専門部の先生方や地元徳島市実行委員会の皆様の格別なる御支援と御指導があったからこそと心より御礼申し上げます。

徳島県ハンドボール界にとっては、初めてのビッグイベントでもあり、難事業ではありましたが、県協会の若い人達が困難を喜びとして立ち向かってくれました。その苦労は並々ならぬものがありましたが、多くのハンドボール関係者の御協力を得て、大会は全ての面において一言の苦言もなく全国の関係者各位から、お褒めの言葉さえ頂くことが出来ました。これも関係者全員が大会の計画、運営に一丸となって当たり、県全体としての視野に立って事にあたってきた精神があったからこそと思います。

この偉業を支えてくれた関係者に改めて敬意を表したいと思います。

◆徳島県ハンドボールの歩み

徳島県のハンドボールの芽生えは、全国でハンドボールを実施していない本県が最後の方であったためか、日本ハンドボール協会や全国高体連から実施の要請があり、これがきっかけとなりました。県教育委員会の援助で、各校で研究し、授業のままの生徒でチームを出し合い交換競技会をやってみようと言うことになりました。県高体連の協力を得、昭和40年2月26日、実施研究会を開き、3月2日と21日、有志校による県内初の競技会が開催され、ハンドボールの灯がともりました。

昭和41年4月高体連専門部が発足し、同年県ハンドボール協会の設立となりました。加盟した学校は、男子4校、女子2校でしたが、同年8月、盛岡市でのインターハイには男子城北高校、女子池田高校が全国に向かってデビューし、記念の年となりました。翌42年には女子のチームが1校になりかけましたが、関係者の努力で新加盟校があり、かろうじて試合を続けることができました。なんとかハンドボールの芽を摘み取ることなく、肩身の狭い思いをしながらも全国大会にも出場させてもらっていました。

発足から数年間は特筆すべきものがなく、先進県に後れをとった10数年間が本県にとってはとてつもなく厚い壁のように思われました。四国、全国のお荷物にならないよう、追いつけ追いこせをモットーに関係者一同が、さらに一層の努力を重ねました。46年の四国インターハイの前44、45年と四国、全国大会に出場するチームだけでなく全チームの合同練習会や、合宿を実施し、県全体のレベルアップに力を入れた結果、四国インターハイでは、男子池田高校が待望の一勝どころか、2回戦も勝ち上がり、3回戦まで駒を進めることが出来ました。女子池田高校も、優勝した山陽女子高（広島）に6対7で敗れはしたものの、大善戦し、全国のハンドボーラーの仲間入りが出来、対等になることが出来ました。

これで自信がついたのか、48年には男子池田高校が四国選手権に優勝、続いて49年には女子池田高校が準優勝し、着実に成果を上げていきます。全国レベルに一歩近づいたものの、その後のしばらくは指導者の転勤もあり、指導者不足で加盟校も男子6校、女子6校に増えたのを最後にチーム数が減り、はかばかしい記録もない。この頃から、各校のOBチームができ大会も出来るようになりました。

国体出場の機会のあった女子チームは1チームしかなく、予選もしないで国体には出場させないと県体協からいわれ、新聞にもハンドボール競技を除く全競技が国体に参加した等を報じられ、屈辱の思いをしたことがありました。成年男女の国体出場も何回かはあるが、隔年制出場枠が無くなってからは、全く出場の機会さえなく、チーム数も減り、張り合いもなくなって、一部のチームが何とかクラブ大会に出場しているのが現状であります。

徳島県ハンドボール界は高校生が育てた組織ではあるが、相変わらずの低迷の時代が続いています。他の競技に比べて普及率の低いハンドボール競技を何とかしようと県協会、高体連で中学校でのチーム作り、高校への新設チーム作りを呼びかけ、指導者の育成、全体のレベルアップ等の目標を決め、関係者の努力は続けられているが、なかなか思うようにはならないのが現状です。

県ハンドボール協会の活性化のため、今後共、益々盛んになるよう努力していきたいと思います。全国ハンドボール関係者の皆様の御指導、御支援、御協力を心からお願い申し上げます。

第41回男子・第25回女子全日本教職員選手権大会

平成10年8月10日（月）〜13日（木）・福島県石川町総合体育館

平成10年度男子41回・女子26回全日本教職員選手権大会を終えて

全日本教職員連盟副会長　柳井文治

時代の流れにより、教育界においても生徒数の減少、学校の統合、学級減、により教職員数が削減され、併せて選手の高年齢化が進み、チーム編成にも困難をきたしているのが現状です。そのような中、福島県協会、福島県石川郡石川町のハンドボール競技に対する「基礎作り」についてのご理解とご協力により、男子10チーム、女子6チームの参加で大会を開くことが出来ました。残念ながら男女各1チームの棄権はあったものの、参加チームは力一杯の熱戦を繰り広げ、男子は「ゆめクラブ」、女子は「神奈川ガビアーノ」と神奈川勢のアベック優勝で締めくくられました。

諸種の事情、インターハイ、ジャパンオープン等の行事でチーム編成がままならず、選手の高年齢化、教員採用難など参加チーム数の減少をやむなしとしているのが現状です。今後の対策については連盟としても、日本ハンドボール協会や関係連盟との連携を取り、真剣に取り組み、打開策について検討を前向きに進めるための第1回目が話し合いを持ちました。また、本大会後には教職員大会がハンドボール競技への入門の場、生涯スポーツとしての競技参加の場として位置付ける方向を指針とすることが話し合われました。

なお、次回平成11年度、第42回男子、女子27回大会は山口県徳山市において開催することになっています。近々、各県協会へ参加打診を行いますので、1チームでも多くの参加をお待ちします。

【男子】

■予選リーグ

▼Aブロック

ゆめクラブ 23－20 埼玉フェニックス

ゆめクラブ　不戦勝　長野教員

埼玉フェニックス　不戦勝　長野教員

[順位] ①ゆめクラブ②埼玉フェニックス③長野教員

▼Bブロック

岩手教員ハンドボールクラブ　33－28　群馬教員

岩手教員ハンドボールクラブ　28－20　愛知教員

群馬教員　23－22　愛知教員

[順位] ①岩手教員ハンドボールクラブ②群馬教員③愛知教員

▼Cブロック

福島クラブ　33－22　栃の葉クラブ

福島クラブ　28－19　愛媛教員クラブ

福島クラブ　35－18　千葉教員

栃の葉クラブ　21－16　愛媛教員クラブ

栃の葉クラブ　26－17　千葉教員

愛媛教員クラブ　28－19　千葉教員

[順位] ①福島クラブ②栃の葉クラブ③愛媛教員クラブ④千葉教員

■決勝トーナメント

▼1回戦

ゆめクラブ　20－19　栃の葉クラブ

福島クラブ　35－15　岩手教員ハンドボールクラブ

▼3位決定戦

岩手教員ハンドボールクラブ　17－24　栃の葉クラブ

▼決勝戦

ゆめクラブ 25－23 福島クラブ

[総合順位] ①ゆめクラブ（神奈川県）②福島クラブ（福島県）③岩手教員ハンドボールクラブ（岩手県）④栃の葉クラブ（栃木県）

<優秀選手・ベストセブン>

ＧＫ　井上　潤一（ゆめクラブ）

ＣＰ　飯田　章二（ゆめクラブ）

ＣＰ　村山　明夫（ゆめクラブ）

ＣＰ　小澤　邦紀（福島クラブ）

ＣＰ　野地　敏雄（福島クラブ）

ＣＰ　中島　昭博（岩手教員クラブ）

ＣＰ　山下　勝俊（栃の葉クラブ）

【女子】

■予選リーグ

▼Aブロック

かながわガビアーノ　20－14 京都教員

かながわガビアーノ　不戦勝　山口クラブ

京都教員　不戦勝　山口クラブ

[順位] ①かながわガビアーノ②京都教員③山口クラブ

▼Bブロック

埼玉教員白小鳩　19－18　FUKUSIMA

埼玉教員白小鳩　19－17　SIGOTO-NIN

FUKUSIMA　20－16　SIGOTO-NIN

[順位] ①埼玉教員白小鳩②FUKUSIMA③SIGOTO-NIN

■決勝トーナメント

▼3位決定戦

京都教員　22－18　FUKUSIMA

▼決勝戦

かながわガビアーノ　31－16　埼玉教員白小鳩

[総合順位] ①かながわガビアーノ（神奈川県）②埼玉教員白小鳩（埼玉県）③京都教員（京都府）④FUKUSIMA（福島県）

<優秀選手・ベストセブン>

ＧＫ　荒川有希子（かながわガビアーノ）

ＣＰ　小暮　美幸（かながわガビアーノ）

ＣＰ　小澤摩里子（かながわガビアーノ）

ＣＰ　小林由里子（埼玉教員白小）

ＣＰ　小堀　早苗（埼玉教員白小鳩）

ＣＰ　辻　賀奈子（京都教員）

ＣＰ　山田美智代（FUKUSIMA）

第11回全国小学生ハンドボール大会総評
日本協会の目指す普及対策に従い着実に成果を

京都府ハンドボール協会副会長
小西博喜

「十年ひと昔」という年輪を刻んだ第11回大会も次の21世紀をにらんだ課題を求める中で、全国47都道府県のフル参加は日本協会の悲願の宿命的課題として取り組まなければならない。

この十年間を振り返って、現状は20～25府県の参加で初回と変わらない数の少なさである。その原因は何か。①経済的事情、②指導者不足（学校体育の場合、指導者の転勤がある）という状況は何ら変わっていない。

しかし、今回初参加の東京都男子、山口県男女有志の皆さんには心からの歓迎を表したい。両都県のここに至る経緯は判らないが、指導者、選手、保護者、協会関係の協力体制により、幾つかのハードルをクリアしながら参加に踏み切った努力と汗を高く評価したい。

男子の初優勝に輝いた小川秀樹団長とするスポーツ少年団守谷クラブ（茨城）は、過去8年間の忍耐と努力が結実し、将来を目指すナショナルへの夢の掛け橋が出来た皆さんの健闘を讃えたい。

また、女子初優勝の日岡ハンドボールスポーツ少年団の大分県は過去8回の優勝を飾る実力県である。その中にあって、日岡スポーツ少年団がやっとつかんだ栄冠には格別の拍手を贈りたい。

さて、戦前・戦中・戦後と3代に亘る時代的背景の中で、今日のハンドボール界の定礎を構築された先駆者たちにとって、新たな生涯ハンドボールのスポーツ時代を迎えようとしている。将来、アジア、世界、オリンピックにおいてメダル獲得は悲願の夢であり、追い求める情熱は更に強いものを感じながら、時には不甲斐なさを感ずる憤りの瞬間があるのは当然のことである。しかし、その目標達成の原点がこの全国小学生大会のスタートであるとすれば、全国フルエントリーの早期実現は夢ではない筈だが…。

今、高校野球の開会式で横一線に揃った球児の一斉スタートを見る時、全国参加の壮大さを感じずにはおれない。

また、本大会出場チームの編成を見ると、学校体育中心の状況は徐々に地域スポーツクラブ指導型の新しい時代に移行しつつある傾向を感じる。そのことが日本協会普及対策の目指す方向でもあり、日体協スポーツ指導員養成の資格取得に努力し、ハンドボールスポーツ指導員の育成を全国都道府県協会事業の中で図っていくことが本来の目的であり、社会体育の望ましい姿であるといいたい。それが前述の不参加の理由②の解決にもなり、指導員スタッフの協力により①の解決へのめどが立つことを約束したい。

その意味で優勝した守谷（男）、日岡（女）共にハンドボールスポーツ少年団として地域に定着した活動を続けており、小学生大会としての今後のあるべき筋道を示唆するモデルケースであるといえるだろう。つまり、子供たちは変わっていくが指導者のスタッフは変わらないで「スポ少クラブ」は存続していくことになる。したがって、①②を含めた地域スポーツ少年団に変身していくことが、地域のサポートを受けながら目指すチームづくりであり、特にそのことを期待し、好ましい環境づくりを希望して止まない次第である。

熱気いっぱい！第11回全国小学生大会

【男子】スポ少守谷クラブ念願の初優勝（茨城県）
【女子】日岡スポ少念願の初優勝（大分県）

京都府ハンドボール協会常任理事
小山　勉

昭和63年2巡目の京都国体に端を発した全国小学生大会も、11回目を迎えました。昨年度は、京田辺市、八幡市の両会場でインター

ハイが開催されることになり、本大会は、滋賀県長浜ドームにて行われました。その間、大会の見直し気運も高まり、京田辺市の主催も返上し、主管京都府ハンドボール協会が主体的に大会運営を担当することになりました。とはいっても京田辺市のご協力なくしては成り立たず、今までの普及事業へのご尽力とご支援に対して、深い敬意と感謝を申し上げるとともに、今後もご支援ご協力をお願いする次第であります。

さて、大会の方に目を向けますと、7月31日から8月2日まで京田辺市中央体育館をメイン会場とし、同志社大学体育館・八幡市民体育館の3会場・4コートにて、男子22チーム・女子18チームで行いました。予選リーグを行い、上位2チームが決勝トーナメント（男子14チーム・女子12チーム）に進出し、栄光をめざしました。

試合に先立ちまして、競技がスムーズに運営出来る様、また小学生に良い思い出を持って帰ってもらうため、審判会議・代表者会議の中で徹底をはかりました。特に審判の先生方には大変ご尽力いただき素晴らしい大会にしていただきました。その1点目は、小学生であってもルール通りしっかり判定してやること、2点目は健康・安全面を配慮することであります。私も現在審判をさせていただいております。いくつかの全国大会をふかせてもらい指導者の方々からご意見をいただくことも多くあります。その中で常に思うことは、指導者・選手・観衆の方々に納得のいくように吹くことです。難しいことかも知れませんが、全国大会を開催するに当たって、あらためて審判の重要性を感じました。

試合の方に目を向けますと、予選リーグにおいては、得点差のでる試合もありましたが、1試合・1試合元気いっぱいのプレーをする小学生に毎年ながら感動しました。また、礼儀正しい面もたくさんみられました。これは指導者の方々の熱意と子供たちを育ててやろうという姿勢と保護者の方々の援助の賜物だと思います。

少子化の進む中、ハンドボールもすてたものではない、もっともっと普及と強化を進めていかなければならないと思いました。また、多くの感動を一般の小学生にも、持ってもらうためメディアの利用も考えなければならないと痛感しました。

さて、試合も2日目にはいり熱戦が多くなってきました。

【男子の部】

準々決勝に地元京都の京田辺市選抜・田辺東小の2チームが残り会場を盛り上げてくれました。準決勝に進出したのは、窪スポ少（富山県）・笹川少（三重県）・守谷ク（茨城県）・沢岻小（沖縄県）の4チームです。それぞれ特徴をいかし勝ち進んできました。笹川小を17対8で下した窪スポ少と沢岻小を激戦の末3点差（16対3）で破った守谷クが決勝で対決。前半から緊迫した好ゲームで、後半ロングシュートの強みで、3点差（18対15）で守谷クが初優勝を成し遂げた。2連覇をねらった窪スポ少は惜しくも負けましたが、全員で走り、守り、コンビネーションも素晴らしかった。

【女子の部】

好ゲームが多く、手に汗を握る試合が続出しました。

準々決勝に男子同様地元京都の京田辺市選抜・田辺小の2チームが残り会場を盛り上げてくれました。また、京田辺市選抜がベスト4に残ったことも大変嬉しく思います。指導者の方々のご尽力の賜物と敬意を表します。

準決勝に進出したのは、日岡スポ少（大分県）・仏生寺スポ少（富山県）・日知屋東小（宮崎県）・京田辺市選抜（京都府）の4チームです。仏生寺スポ少を18対14で下した日岡スポ少と京田辺市選抜を延長の末、2点差（13対11）で破った日知屋東小が決勝で対決。前半は、両チーム堅さがみられたが着実に点をとり、8対6で日岡スポ少が2点リードする。後半にはいり、日岡スポ少が日知屋東小のディフェンスの上からロングシュートをきめ7点差（18対11）で逃げ切り初優勝を成し遂げた。

男子優勝守谷ク・女子優勝日岡スポ少の皆さんおめでとうございます。また、惜しくも破れたチームの皆さん良く頑張りました。京都での思い出を大切に、今後も活躍されることを期待します。

最後に、本大会にご協力くださいました関係各位に深くお礼申し上げると共に、これからも、素晴らしい大会になりますよう努力していきたいと思います。

第11回全国小学生ハンドボール大会

男子の部

Aブロック

	富岡イーグルス	播磨ラッキーズ	窪スポーツ少年団	順位
(群馬県) 富岡イーグルス		○ 8−6	× 6−20	2位
(兵庫県) 播磨ラッキーズ	× 6−8		× 5−16	3位
(富山県) 窪スポーツ少年団	○ 20−6	○ 16−5		1位

Bブロック

	塩山スポーツ少年団	笹川ハンドボール少年団	山鹿小学校ハンドボール部	順位
(山梨県) 塩山ハンドボールスポーツ少年団		× 6−18	× 7−11	3位
(三重県) 笹川ハンドボール少年団	○ 18−6		○ 13−9	1位
(熊本県) 山鹿小学校ハンドボール部	○ 11−7	× 9−13		2位

Cブロック

	オリーブくん	京田辺市選抜	セブンスター鶴巻H.C	順位
(香川県) スポーツ少年団オリーブくん		× 4−19	× 4−12	3位
(京都府) 京田辺市選抜	○ 19−4		○ 14−4	1位
(東京都) SEVEN STARS 鶴巻H.C	○ 12−4	× 4−14		2位

Dブロック

	真弓クラブ	横瀬ハンドボール	安居ブルーサンダー	順位
(奈良県) 真弓クラブ		× 9−17	× 10−11	3位
(大分県) 横瀬ハンドボールクラブ	○ 17−9		○ 17−2	1位
(福井県) 安居ブルーサンダーハンドボール少年団	○ 11−10	× 2−17		2位

Eブロック

	愛知県ハンドボール	甲田ハンドボール部	守谷クラブ	順位
(愛知県) 愛知県ハンドボールスクール		× 7−13	× 11−21	3位
(広島県) 甲田ハンドボール部	○ 13−7		× 8−19	2位
(茨城県) スポーツ少年団守谷クラブ	○ 21−11	○ 19−8		1位

Fブロック

	LITTLE GUTS	小林小ハンドボール	田辺東小学校	順位
(山口県) LITTLE GUTS		× 4−19	× 6−26	3位
(宮崎県) 小林小ハンドボールスポーツ少年団	○ 19−4		× 9−11	2位
(京都府) 田辺東小学校	○ 26−6	○ 11−9		1位

Gブロック

	総社クラブジュニア	沢岻小学校	高盛スポーツクラブ	大浜キッズ	順位
(岡山県) 総社クラブジュニア		× 13−20	× 7−12	× 8−15	4位
(沖縄県) 沢岻小学校ハンドボールクラブ	○ 20−13		○ 19−6	○ 21−12	1位
(北海道) 高盛ハンドボールクラブ	○ 12−7	× 6−19		× 3−16	3位
(大阪府) 大浜キッズ	○ 15−8	× 12−21	○ 16−3		2位

決勝トーナメント

スポーツ少年団守谷クラブ（初優勝）

- ① 窪スポ 13 − 9 小林小
- ② 笹川 8 − 5 甲田
- ③ 京田選 11 − 7 安居
- ④ 横瀬 15 − 2 鶴巻
- ⑤ 守谷 22 − 5 山鹿小
- ⑥ 田辺東 11 − 6 富岡
- ⑦ 大浜キ 7 − 20 窪スポ
- ⑧ 笹川 12 − 11 京田選
- ⑨ 横瀬 9 − 23 守谷
- ⑩ 田辺東 12 − 15 沢岻小
- ⑪ 窪スポ 17 − 8 笹川
- ⑫ 守谷 16 − 13 沢岻小
- ⑭ 窪スポ 15 − 18 守谷

3位決定戦 沢岻

- ⑬ 笹川 13 − 25 沢岻小

第11回全国小学生ハンドボール大会
女　子　の　部

aブロック

	安堵の里ハンドボール	日岡ハンドボール	甲田ハンドボール部	順位
（奈良県）安堵の里ハンドボールクラブ		× 8−18	○ 22−0	2位
（大分県）日岡ハンドボールスポーツ少年団	○ 18−8		○ 29−3	1位
（広島県）甲田ハンドボール部	× 0−22	× 3−29		3位

bブロック

	瀬戸オールスターズ	富岡ラビッツ	田辺小学校	順位
（岡山県）瀬戸オールスターズジュニア		× 5−21	× 7−20	3位
（群馬県）富岡ラビッツ	○ 21−5		× 12−18	2位
（京都府）田辺小学校	○ 20−7	○ 18−12		1位

cブロック

	LITTLE GUTS	仏生寺スポーツ少年団	大浜キッズ	順位
（山口県）LITTLE GUTS		× 2−28	× 5−18	3位
（富山県）仏生寺スポーツ少年団	○ 28−2		○ 26−6	1位
（大阪府）大浜キッズ	○ 18−5	× 6−26		2位

dブロック

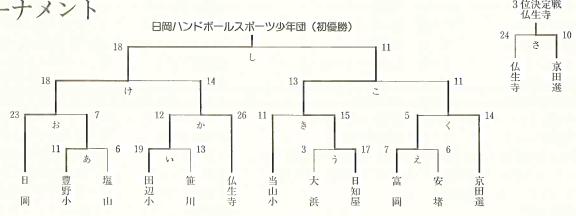
	オリーブちゃん	笹川ハンドボール	当山小学校	順位
（香川県）スポーツ少年団オリーブちゃん		× 4−24	× 9−17	3位
（三重県）笹川ハンドボール少年団	○ 24−4		× 11−8	2位
（沖縄県）当山小学校	○ 17−9	○ 11−8		1位

eブロック

	塩山ハンドボール	日知屋東ハンドボール部	愛知県ハンドボール	順位
（山梨県）塩山ハンドボールスポーツ少年団		× 7−9	○ 10−3	2位
（宮崎県）日知屋東小ハンドボール部	○ 9−7		○ 23−4	1位
（愛知県）愛知県ハンドボールスクール	× 3−10	× 4−23		3位

fブロック

	東安居ハンドボール	京田辺市選抜	豊野小ハンドボール	順位
（福井県）東安居ハンドボールスポーツ少年団		× 5−15	× 4−18	3位
（京都府）京田辺市選抜	○ 15−5		○ 14−10	1位
（熊本県）豊野小ハンドボール	○ 18−4	× 10−14		2位

決勝トーナメント

第6回全日本マスターズ大会

平成10年度第6回全日本マスターズ大会を終了して

全日本教職員連盟副会長　柳井文治

愛知県ハンドボール協会、豊田市、豊田市ハンドボール協会の全面的なご協力により標記大会を開催することが出来ました。

本大会は、現役は引退したけれども、ハンドボールが好きで好きでたまらない者達がコートに立ち、ボールを追い、プレーをするために開催されているものです。うわさを聞き、誘い合い、誘いを受けた往年のプレイヤーが中心となり同士を呼び出しチームを作り、また会場で飛び入り参加してゲームを行いました。ハンドボール競技を通して楽しい一時を過ごした仲間、学生時代や社会人時代に互いに競い合ったプレイヤーが一同に集いプレーをしました。現役時代の片鱗をのぞかせる者、ハッスルプレーで喝采を浴びる者、思わずガッツポーズの出る者など会場は大いに盛り上がりました。夜は、選手ばかりでなく家族も交えた220名の大晩餐会が催され、大いに語り合い、楽しい一夜を過ごし、3日間に渡る大会を成功裡のうちに終えることが出来ました。

この楽しい、そして生涯スポーツとしてのハンドボールを今後も大いに盛り上げ続けていきたいと思います。親から子へ、子から孫へ受け継いでいく中核作りになればと考えています。次回は、平成11年8月に山口県徳山市において実施することになっています。チームとしての参加はもちろん大歓迎ですが、チームは主催者で調整しますので1名での参加もできます。今から予定に入れておいてはいかがでしょうか。1チームでも多くの、1人でも多くの往年のハンドボール愛好者の皆様の参加をお待ちしています。ハンドボーラー同士、お互い声を掛け合いましょう。

大会要項は各都道府県協会事務局へ近々発送しますので問い合わせて下さい。

【男子】

■予選リーグ

▼Aブロック

オールド愛媛	12－5	豊田クラブ
下関巌流会	12－3	知多クラブ
兵庫選抜	13－8	オールド愛媛
下関巌流会	17－6	豊田クラブ
兵庫選抜	16－7	知多クラブ
下関巌流会	12－3	オールド愛媛
豊田クラブ	12－9	知多クラブ
下関巌流会	12－10	兵庫選抜
知多クラブ	7－5	オールド愛媛
兵庫選抜	13－4	豊田クラブ

［順位］①下関巌流会（山口県）②兵庫選抜（兵庫県）③オールド愛媛（愛媛県）④知多クラブ（愛知県）⑤豊田クラブ（愛知県）

▼Bブロック

埼玉46G会	10－9	名城オールスターズ
A・T・F	8－6	神楽坂フェニックス
名城オールスターズ	11－10	生駒オークス
埼玉46G会	17－8	A・T・F
生駒オークス	13－8	神楽坂フェニックス
A・T・F	8－6	名城オールスターズ
埼玉46G会	9－9	神楽坂フェニックス
生駒オークス	13－4	A・T・F
神楽坂フェニックス	13－11	名城オールスターズ
生駒オークス	14－7	埼玉46G会

［順位］①生駒オークス（奈良県）②埼玉46G会（埼玉県）③A・T・F（愛知県）④神楽坂フェニックス（神奈川県）⑤名城オールスターズ（愛知県）

■順位決定戦

▼9～10位決定戦

名城オールスターズ　12－5　豊田クラブ

▼7～8位決定戦

神楽坂フェニックス　13－7　知多クラブ

▼5～6位決定戦

A・T・F　12－11　オールド愛媛

▼3～4位決定戦

兵庫選抜　18－8　埼玉46G会

▼優勝決定戦

下関巌流会　12－6　生駒オークス

［最終順位］①下関巌流会（山口県）②生駒オークス（奈良県）③兵庫選抜（兵庫県）④埼玉46G会（埼玉県）⑤A・T・F（愛知県）⑥オールド愛媛（愛媛県）⑦神楽坂フェニックス（神奈川県）⑧知多クラブ（愛知県）⑨名城オールスターズ（愛知県）⑩豊田クラブ（愛知県）

【女子】

■リーグ戦

ギャロップレディースクラブ	10－8	中部ドリームズ
モッピークラブ	5－4	東花レディース
武蔵野クラブ	10－7	瀬戸内レディース
ギャロップレディースクラブ	8－5	モッピークラブ
東花レディース	8－4	武蔵野クラブ
中部ドリームズ	7－6	モッピークラブ
瀬戸内レディース	10－8	中部ドリームズ
武蔵野クラブ	6－4	ギャロップレディースクラブ
瀬戸内レディース	7－5	モッピークラブ
ギャロップレディースクラブ	10－2	東花レディース
ギャロップレディースクラブ	9－5	瀬戸内レディース
武蔵野クラブ	5－2	モッピークラブ
中部ドリームズ	11－5	東花レディース
東花レディース	8－6	瀬戸内レディース
武蔵野クラブ	7－5	中部ドリームズ

［最終順位］①ギャロップレディースクラブ（岩手県）②武蔵野クラブ（東京都）③中部ドリームズ（愛知県）④瀬戸内レディース（愛媛県）⑤東花レディース（東京都）⑥モッピークラブ（大阪府）

ANA CARD

ANAカードなら、旅の応援機能満載。
マイレージの楽しさも大きく広がります。

空港でも余裕のチェックイン

出張先でのショッピングもバックアップ

旅の安心。保険もサポート

ホテルのご利用もおトク倍増

航空券ご予約が、スムーズアップ

ショッピングでマイルを貯めるならやっぱりANAカード!

お買物やお食事でもカードでしっかり貯めやすい

クレジット会社のポイントを100円=1マイルで貯められます。

一度で2倍貯まる「ショッピングアルファ」も充実

下記のお支払い内容なら、100円=1マイルを自動的に加算。クレジット会社のポイントによるマイルと合わせて、100円=2マイルになるうれしいサービスです。

■対象商品・店舗
●国内全日空各支店、空港カウンターでの航空券のお求め、および機内販売 ●高島屋 ●日本石油SS ●出光SS

さらにボーナスマイルで貯めやすさがアップ!

飛ぶたびに基本マイレージの15%(ワイドカードの場合。一般カードは5%)のボーナスマイル。また、毎年初めてのご搭乗時に3,000マイル(ワイドカードの場合。一般カードは1,000マイル)のボーナスマイルでおトクに貯まります。

今なら、一般カード初年度年会費無料サービス中です

今日からマイルが貯められるインスタントカード付き

お問い合わせ、入会申込書のご請求は、フリーダイヤル 0120-029-707まで
[受付時間] 9:30~17:00(土・日・祝・年末年始を除く)
全日空各支店、空港カウンターにもございます。

第20回東日本学生選手権大会

男子は中央大、女子は筑波大が制す

東日本インカレを終えて

茨城県ハンドボール協会副理事長　雨谷　秀樹

　平成10年度第20回東日本ハンドボール選手権大会が平成10年8月8日から12日までの5日間、全日本学生ハンドボール連盟主催のもと、茨城県笠間市・石岡市・美野里町にて開催されました。

　第5回大会以来15年ぶりに茨城県での開催となった本大会を運営するに当たって、いくつか気付いた点を振り返ってみたいと思います。

〈事務手続き〉

　参加申込書等の必要書類が期日までに提出されないチームが幾つかあった。パンフレット等の作成上、期限はしっかりと守ってもらいたいものである。

〈各チームの宿舎の確保〉

　男子32チーム、女子16チームの宿舎となると、地理的に会場からかなり離れた場所になってしまう。また、宿泊料金は統一料金ではあるが、質的にある程度の差が出てしまうのはやむを得ないのだろうか。

〈審判員の確保〉

　予選はリーグ形式のためレフェリーが12ペア必要であり、県内で9ペアを確保しなければならなかった。県内役員の絶対数を考えると、厳しいものがあった。各地区学連の帯同審判制は機能していない様である。

〈施設使用上の問題〉

　最近は各体育館ともゴミの持ち帰りが徹底されており、各チームに協力を要請したが、徹底は出来なかったようである。特に高校の体育館を使用した場合は、喫煙所を設けなかったためか、ゴミの散乱が目についた。

　いくつかの問題点（運営者側の問題、参加者側の問題）が提起されましたが、本大会で得たノウハウを次に生かしていきたいと思います。

　また、大きなトラブルもなく、本大会が無事終了できましたことは全日本学生ハンドボール連盟を始め、多くの関係機関・団体各位の多大なご支援、ご協力によるものと、厚くお礼申し上げます。

男子

■予選リーグ

▼A組

筑波大 40－9 札幌大
筑波大 32－13 青山学院大
筑波大 52－8 長野大
青山学院大 19－18 札幌大
青山学院大 31－12 長野大
札幌大 21－20 長野大

［順位］①筑波大学②青山学院大学③札幌大学④長野大学

▼B組

早稲田大 21－19 東北福祉大
早稲田大 35－9 信州大
早稲田大 32－10 明治学院大
東北福祉大 26－4 信州大
東北福祉大 25－7 明治学院大
明治学院大 21－12 信州大

［順位］①早稲田大学②東北福祉大学③明治学院大学④信州大学

▼C組

中央大 28－17 拓殖大
中央大 32－11 道都大
中央大 38－9 福島大
拓殖大 15－13 道都大
拓殖大 25－14 福島大
道都大 27－19 道都大

［順位］①中央大学②拓殖大学③道都大学④福島大学

▼D組

日体大 37－11 新潟大
日体大 39－9 北海道大
日体大 34－7 東京経済大
新潟大 24－15 北海道大
新潟大 26－8 東京経済大
東京経済大 17－14 北海道大

［順位］①日本体育大学②新潟大学③東京経済大学④北海道大学

▼E組

日本大 24－18 国士舘大
日本大 32－13 仙台大
日本大 33－15 小樽商科大
国士舘大 25－15 仙台大
国士舘大 36－7 小樽商科大
仙台大 32－16 小樽商科大

［順位］①日本大学②国士舘大学③仙台大学④小樽商科大学

▼F組

東海大 22－12 函館大
東海大 27－12 国際武道大
東海大 27－11 山形大
函館大 23－19 国際武道大
函館大 27－11 山形大
国際武道大 24－19 山形大

［順位］①東海大学②函館大学③国際武道大学④山形大学

▼G組

法政大 22－10 東北学院大
法政大 32－8 金沢大
法政大 35－6 北海学園大
東北学院大 35－13 金沢大
東北学院大 31－10 北海学園大
金沢大 19－15 北海学園大

［順位］①法政大学②東北学院大学③金沢大学④北海学園大学

▼H組

順天堂大 28－15 金沢工大
順天堂大 31－13 秋田大
順天堂大 40－6 武蔵工大
金沢工大 18－17 秋田大
金沢工大 27－16 武蔵工大
秋田大 33－16 武蔵工大

［順位］①順天堂大学②金沢工業大学③秋田大学④武蔵工業大学

■決勝トーナメント

▼1回戦

筑波大 28－16 日本大
日体大 23－22 順天堂大
中央大 33－19 法政大
早稲田大 27－15 東海大

▼準決勝

筑波大 38－28 日体大
中央大 34－20 早稲田大

▼決勝

中央大 25－24 筑波大

▼インカレ出場決定戦

東北福祉大 25－21 国士舘大
東北学院大 25－22 青山学院大
拓殖大 24－16 金沢工大
函館大 26－16 新潟大

女子

■予選リーグ

▼a組

筑波大 19—12 東海大
筑波大 35—6 新潟大
筑波大 32—6 北教大旭川
東海大 23—10 新潟大
東海大 22—5 北教大旭川
北教大旭川 16—11 新潟大

[順位]①筑波大学②東海大学③北海道教育大学旭川校④新潟大学

▼b組

東女体大 17—14 茨城大
東女体大 22—18 東北福祉大
東女体大 42—5 仁愛女短大
茨城大 20—15 東北福祉大
茨城大 32—4 仁愛女短大
東北福祉大 31—7 仁愛女短大

[順位]①東京女子体育大学②茨城大学③東北福祉大学④仁愛女子短期大学

▼c組

日女体大 18—17 日体大
日女体大 35—6 北海道女大
日女体大 32—4 仙台大
日体大 35—6 北海道女大
日体大 26—5 仙台大
仙台大 24—14 北海道女大

[順位]①日本女子体育大学②日本体育大学③北海道女子大学④仙台大学

▼d組

国士舘大 29—11 東京学芸大
国士舘大 34—14 金沢大
国士舘大 29—16 秋田大
秋田大 23—20 東京学芸大
秋田大 22—17 金沢大
東京学芸大 32—12 金沢大

[順位]①国士舘大学②秋田大学③東京学芸大学④金沢大学

■決勝トーナメント

▼1回戦

筑波大 30—12 国士舘大
東女体大 20—13 日女体大

▼決勝

筑波大 25—24 東女体大

男子37回・女子28回西日本学生選手権大会
男女とも大阪体育大が制す

西日本学生選手権大会総評

中四国学生連盟副理事長　高野　修

男子第37回・女子第28回西日本学生ハンドボール選手権大会が平成10年8月14日から18日の5日間、広島県立総合体育館（広島市中区）にて東海以西の4連盟から選ばれた精鋭男子32校、女子16校が参加して開催された。

今大会では男子は決勝トーナメント進出校8校に加え、各8ブロックの2位チームによる全日本インカレ出場決定戦で選ばれた4チーム、計12チームが、女子は各4ブロック2位までの8チームが11月に名古屋で開催される全日本インカレ出場権獲得を目指し、し烈な戦いが繰り広げられた。

（男子予選リーグ）

各ブロックとも順当にシード校が決勝トーナメント進出を決める中、東海勢が奮闘、愛知教育大及び名城大が関西シード校を破りベスト8進出を、中京大が福岡大を破りベスト8進出を果たし、昨年なくしたシード権を3つ獲得した。他、大阪体育大、京都産業大学の関西勢、東和大、福岡教育大の九州勢、中四国勢では昨年ベスト4に進出した広島大が今年もベスト8進出を果たした。

（女子予選リーグ）

女子も各ブロックで順当にシード校が勝ち上がる中、福岡大が大阪教育大を破りベスト4進出、大阪体育大、中京女子大、福岡教育大の3チームが各ブロック1位となり、シード権を獲得した。また、リーグ戦2位となって、全日本インカレ出場権を獲得したチームは、龍谷大、天理大、武庫川女子大、大阪教育大の4チームとなった。

（男子決勝トーナメント）

大会4日目、男子は準々決勝、準決勝を戦うもっとも過酷な状況下で、前評判通りの戦いを見せたのが大阪体育大学であった。固い6—0ディフェンスからの速攻、サイド下川、エース永島を中心としたセットプレーでゲームを展開、無難に決勝進出、対して予選リーグで関西2位の桃山学院大を一方的に下し、波に乗る名城大もエース北出のロング、ミドルを軸に同一リーグ対戦となった準決勝の中京大戦を危なげなく乗り切り決勝進出を決めた。

決勝戦は両チームとも、出足が固く、様子を探る展開、10—10のロースコアで終了、後半に入り、名城大の2分間退場の間に大阪体育大が3連取、主導権を握ると、一時1点差に詰め寄られる場面もあったが、終始リードを保ち後半へ突入、残り4分で再び名城大学14番が退場、一気に4点を連取した大阪体育大が21—16で勝利を手にした。

（女子決勝トーナメント）

大阪体育大と中京女子大、同一リーグ対戦となった福岡教育大と福岡大との準決勝は、一方的に中京女子大を下した大阪体育大と大阪教育大を予選リーグで下し勢いのある福岡大が、九州リーグでの雪辱を果たして決勝進出を決めた。

決勝は3年連続10回目の優勝を目指す大阪体育大と7年ぶり2回目の優勝を目指す福岡大との一戦、前半、福岡大が14番の活躍もあり、終始リード、一時は11—5と大量6点差をつける場面もあったが、大阪体育大は福岡14番にマンツーマンディフェンスで応戦、前半を11—9福岡大2点のリードで終了した。後半に入って、大阪体育大は一気に3連取で逆転、以後一進一退の攻防が続いたが、福岡大の善戦むなしく、19—17で大阪体育大が勝利を手にした。

（総括）

5日間にわたる熱戦は、前評判通り男女大阪体育大の両チームがタイトルを手中にし、大きな事故、怪我も無く、無事終了した。

競技については、絶対的なエースを要し、力でねじ伏せるチーム

は少なく、コンパクトでまとまったチームカラーが目立ったほか、各チームともミスが目立つ大味な試合が多く、少し残念な気がしたが、全日本インカレのタイトル奪取に向け出場チームの奮起を期待したい。

競技場については1会場3コート、松やに使用可、冷房を完備するなど、移動の負担、選手の体調管理、競技力の向上の面において、申し分ない大会が開催できたと思っている。また、大会運営においては広島県ハンドボール協会からの資金並びに大会役員の派遣、大学生・高校生の支援によって、スムースな大会運営ができたことをこの場をお借りして感謝したい。さらに、今大会ではペプシコーラから選手・役員にとスポーツ飲料が大会期間中提供されるという、国際大会並みの環境の中で実施できたこと付け加えておきたい。

最後に、大会の開催にあたり、全日本学生連盟をはじめ、中四国学生連盟、各後援団体並びに大会役員の皆様、会場に足を運んでいただきました、ハンドボールファンの方々に感謝の意を表しまして、報告とさせていただきます。

男子

■予選リーグ

▼Aブロック

大阪体育大 36－6 岡山大
大阪体育大 35－13 神戸国際大
大阪体育大 30－12 愛知大
愛知大 15－11 岡山大
愛知大 25－15 神戸国際大
神戸国際大 23－15 岡山大

［順位］①大阪体育大学②愛知大学③神戸国際大学④岡山大学

▼Bブロック

愛知教育大 25－17 大阪経済大
愛知教育大 25－20 熊本学園大
愛知教育大 25－12 龍谷大
大阪経済大 25－21 熊本学園大
大阪経済大 24－15 龍谷大
熊本学園大 26－22 龍谷大

［順位］①愛知教育大学②大阪経済大学③熊本学園大学④龍谷大学

▼Cブロック

京都産業大 23－18 沖縄国際大
京都産業大 29－19 松山大
京都産業大 24－23 中部大
沖縄国際大 27－12 松山大
沖縄国際大 30－23 中部大
中部大 24－9 松山大

［順位］①京都産業大学②沖縄国際大学③中部大学④松山大学

▼Dブロック

広島大 21－16 関西学院大
広島大 29－18 同志社大
愛知学院大 21－16 広島大
関西学院大 23－14 同志社大
関西学院大 26－23 愛知学院大
同志社大 21－19 愛知学院大

［順位］①広島大学②関西学院大学③愛知学院大学④同志社大学

▼Eブロック

中京大 21－14 福岡大
中京大 26－13 関西外語大
中京大 31－17 天理大
福岡大 28－12 関西外語大
福岡大 28－15 天理大
天理大 21－16 関西外語大

［順位］①中京大学②福岡大学③天理大学④関西外国語大学

▼Fブロック

福岡教育大 22－22 立命館大
福岡教育大 29－13 愛媛大
福岡教育大 32－8 朝日大
立命館大 19－15 愛媛大
立命館大 25－13 朝日大
愛媛大 25－10 朝日大

［順位］①福岡教育大学②立命館大学③愛媛大学④朝日大学

▼Gブロック

東和大 19－18 近畿大
東和大 23－9 広島経済大
東和大 24－15 神戸大
広島経済大 18－14 近畿大
広島経済大 15－12 神戸大
近畿大 21－10 神戸大

［順位］①東和大学②広島経済大学③近畿大学④神戸大学

▼Hブロック

名城大 21－10 桃山学院大
名城大 35－8 近大工学部
名城大 36－9 九州産業大
桃山学院大 40－13 近大工学部
桃山学院大 33－10 九州産業大
近大工学部 31－19 九州産業大

［順位］①名城大学②桃山学院大学③近畿大学工学部④九州産業大学

■決勝トーナメント

▼1回戦

大阪体育大 34－10 愛知教育大
京都産業大 27－24 広島大
中京大 32－26 福岡教育大
名城大 20－9 東和大

▼準決勝

大阪体育大 34－14 京都産業大
名城大 27－21 中京大

▼決勝

大阪体育大 21－16 名城大

▼インカレ出場決定戦

大阪経済大 38－14 関西学院大
福岡大 33－19 沖縄国際大
桃山学院大 25－15 広島経済大
立命館大 26－17 愛知大

女子

■予選リーグ

▼aブロック

大阪体育大 37－3 川崎医福大
大阪体育大 27－4 琉球大
大阪体育大 20－16 龍谷大
龍谷大 29－6 川崎医福大
龍谷大 22－11 琉球大
琉球大 18－15 川崎医福大

［順位］①大阪体育大学②龍谷大学③琉球大学④川崎医療福祉大学

▼bブロック

中京女大 20－13 天理大
中京女大 29－7 岡山県立大
中京女大 27－25 立命館大
天理大 25－16 岡山県立大
天理大 20－18 立命館大
立命館大 29－14 岡山県立大

［順位］①中京女子大学②天理大学③立命館大学④岡山県立大学

▼cブロック

福岡教育大 43－12 広島大
福岡教育大 19－15 中京大
福岡教育大 18－17 武庫川女大
武庫川女大 42－8 広島大
武庫川女大 25－12 中京大
中京大 33－10 広島大

［順位］①福岡教育大学②武庫川女子大学③中京大学④広島大学

▼dブロック

福岡大 22－12 大阪教育大
福岡大 28－10 文理短大
福岡大 33－7 関西女短大
大阪教育大 31－14 文理短大
大阪教育大 21－11 関西女短大
文理短大 22－14 関西女短大

［順位］①福岡大学②大阪教育大学③名古屋文理短期大学④関西女子短期大学

■決勝トーナメント

▼1回戦

大阪体育大 29－17 中京女子大
福岡大 22－17 福岡教育大

▼決勝

大阪体育大 19－17 福岡大

「新生」日本リーグへの期待

企画・広報委員
早川　文司

「新生」日本リーグが開幕。「新生」をつけたのはもちろん「委員会」から「機構」に名称が変わったことで、将来をにらんでの画期的なことだからである。単に名称変更だけだった―で終わってしまっては、まるっきり意味がないのは明らかである。

今年の日本リーグをステップに、新しい路線をどう歩んでいくか、最大の課題であるし、また希望の灯でもある。オーバーに表現すれば、日本リーグ、いや日本ハンドボール界そのものの浮沈を握っているといっても過言ではないような気がする。ともかく「日本リーグ機構」に大きな期待を寄せて、今シーズンを見守っていきたいと思う。

ところで、今シーズンは組織替えとは別に新外国人加入も注目の的だ。中でもブンデスリーガからやってきたバリバリの世界のスーパースター、ストックラン、ヴォル（フランス出身、本田技研）の二人は特筆もの。特にストックランは昨季のブンデスリーガ得点王というビッグタイトルをひっさげての登場。左腕から繰り出される強烈で華麗なシュートが間近で見られるかと思うとワクワクしてくる。

また、大同には韓国ナショナルの朴性立が加わり、エース林珍錫とのコンビプレーが楽しみだ。

女子も男子に劣らない実力派がお目見え。昨年の全日本総合優勝のイズミには林五卿の後輩で、オリンピック、世界選手権を制覇した韓国のメンバー呉成玉。すでに全日本実業団で実力は証明済み。体調も整ってきてブランクを感じさせないプレーから目が離せない。

オムロンには中国のナショナル陳海雲。立山アルミには、こちらも韓国の李姫政が新加入した。混戦のリーグが、ますます白熱した様相を呈するのは確かである。

こうして折角、すばらしい多くのプレーヤーを迎えたことは喜ばしいが、黙ってポジションを明け渡す姿勢だけはみせてほしくない。技術を盗み、刺激を受け、レベルを高めいっそうの成長を遂げてこそ意義ある補強といえる。彼ら、彼女らを押しのける時こそ、日本ハンドボール界が世界にはばたけることを肝に命じておいてもらいたい。

第2回 日韓親善ハンドボール交流 横浜大会（女子）開催される

（財）日本体育協会、（財）日本オリンピック委員会主催の日韓スポーツ交流事業が、平成10年8月11日より16日まで、横浜市平沼記念体育館で来日プログラムとして実施された。なお、訪韓プログラムは8月24日より29日実施された。

日本側は、U－16ナショナルチームの全国から選抜された女子選手16名が参加した。韓国側は韓国のトップチームから選抜された16名が参加した。

プログラムの内容は、韓国パク監督、及び日本の池本コーチ（ジャスコ監督）による基礎技術、速攻トレーニングなど、ハードなメニューであった。季節的にも猛暑で、時には両コーチからの叱咤激励も飛んでいたが、選手一同は元気一杯にメニューをこなした。

最終日の午後には交流試合が行われた。

交流試合は、立ち上がり17秒、韓国ユンの得点で始まった。その後、韓国はユー、ソ・ヨンミなどで得点を重ねたが、日本も宮崎、サウスポー千葉のロングなどで互角の展開であった。前半20分あたりから、日本は韓国の高いディフェンスを攻めあぐね、徐々に差を広げられた。結局前半は13－8の韓国リードで折り返した。

後半に入ると、韓国は日本のミスを拾い、オ・ウンジョンの速攻などで着々と加点。日本も加藤のサイドシュートなどでがんばるものの、体格に優る韓国に26－15で敗れた。

この交流試合の後も、交流試合に出場しなかった選手を中心として20分ゲームがもたれた。

最終日には、この後交歓会ももたれ、言葉は通じないながらも選手たちは交流を深めていた。ここに参加した選手たちは、今後ジュニア選手権、アジア大会、オリンピックなどで相まみえることを期待したい。

日本・韓国スポーツ交流事業報告（訪韓）

真田 元（日本女子U－16選手団団長・(財)日本中体連ハンドボール部長）

1 日程概要

8月23日 ホテル京阪集合 結団式

8月24日 関西空港より金浦空港へ［午後］ホテル着後トレーニング内容等のスタッフミーティング、貞信女子中・高等学校体育館にてトレーニング

8月25日［午前］トレーニング（韓国コーチ妾氏）［午後］練習ゲーム、ウエルカムパーティー

8月26日［午前］合同トレーニング［午後］練習ゲーム、両国スタッフ懇親会

8月27日 ソウル市内観光

8月28日［午前］合同トレーニング（韓国コーチ妾氏）［午後］交流大会、さよならパーティー

8月29日 帰国 関西空港にて解団式

2 所感

昨年度の反省点を踏まえ4月より実施計画をスタートさせたが、日本・韓国の事務レベルでの実施日程の連絡調整にてまどった部分があったが、関係機関、団体のご協力、ご理解で実施にこぎつけられたことに感謝したい。

3 成果

今年度は、韓国も16歳以下の（日本の学齢で中学2、3年生のみのチーム）を結団し同年齢の子どもたちの交流が深められるように取り組んでくれたことに大きな成果があったように思う。

練習ゲーム、交流大会を見る限り実力の差がゆがめないが合同トレーニング・練習ゲームを重ねる毎に韓国のステップ・攻撃スピードについて行ける時間帯が長くなってきた。

ホテルでの食事時間や自由時間には両国の生徒が言葉や文化の壁を超えてお互いに交流しあっていたのが印象に残る。

8月29日の帰国時には互いに別れを惜しみ、涙しながらの見送りであった。

4 今後の課題

（1）事業の位置付け（日本としての意味）

①事業の周知徹底とPRの必要性。

②年齢に応じた一貫性のある練習プログラムの必要性。

③選手選考方法とU－16からナショナルチームまでの強化システム構造のPRと中学生・高校生への「夢」を持たせる必要性。

（2）両国の教育システムの違いと日程的な問題

①国内での中高校生の大会日程と本事業の実施期日の調整

平成11年度は8月14日から8月30日で実施して行くことで基本合意し、最初に訪韓、その後来日予定。

本事業の韓国オリンピック委員会より韓国ハンドボール協会に実施文書が届くのが6月20日前後であることがわかった。

（3）今後の交流について

韓国ハンドボール協会副会長兼専務理事柳氏よりU－16だけでなく、19、23、実業団等で定期的な交流が図れないかとの申し出があった。

最後になりましたが、本事業にご理解・ご協力いただきました関係機関、団体に厚くお礼申し上げ報告といたします。

横浜大会より

「21世紀に向けた指導者養成の必要性」

石川　泰弘
（神奈川県立麻生高等学校）

　21世紀は、国民総スポーツ時代（生涯スポーツ時代）と言われている。このことは指導者へのニーズの量的な増大とともに、多様化・高度化の時代とも言い換えることができる。

　学校教育（社会教育）に於けるスポーツ活動の指導者に於いて、過去に於ける経験論的指導法から、科学的・論理的な指導法への脱却は、結果的にスポーツ指導者の地位を向上させ、社会的な評価を高める契機につながると考える。

　そのためには、各々のチーム（個人）の目的に応じ適切な方向へ導き、且つ専門的知識を有した指導者の質的、量的な充実整備を図るとともに、スポーツ指導者の有効的な活用の方策を構築することが重要な課題である。

　今後のスポーツの更なる発展を期待する上で、これらを踏まえた指導者養成が必要不可欠であると考える。

〈運動部活動の現状〉

　学校現場においては、社会体育への移行論が噴出し、このような動きは既に始まっている。

　スポーツに対する価値観や興味・関心の変化による部活動離れや、楽しみ方の多様化、顧問の過重負担、顧問の専門性の格差、顧問の不足と高齢化等、そして競技力向上を支えてきた日本的運動部の本質から起因する精神主義、勝利至上主義、旧態依然とした非科学的な指導と長時間練習などはこれに拍車をかけている。

　このことは、1996年10月9日に、文部省から発表された「中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査」が裏付けている。これは、運動部活動の本格的な実態調査として、スポーツ・教育関係者、更にはマスコミ等各方面から注目を浴びた。この背景には、従来から指摘されていた体罰や、バーンアウトシンドローム（燃え尽き症候群）などの部活動の問題状況のみならず、部活動の地減移行論に示されるように、中教審答申「学校のスリム化」の一環として、部活動の存在そのものが、根本から問われていることに端を発している。

　その調査の内容を見ると、生徒、保護者、教員の9割以上が部活動の教育的意義を認めているが、「運動部活動を、将来どのようにしていくのが良いか」という問いに対して、保護者の90・6％が「学校に残した方が良い」と回答しているのに対して、教員の方は、運動部顧問の51・8％、それ以外の教員の56・4％ともに、「地域に移行した方が良い」と回答しており、その割合は実に全教員の過半数を占めていた。

　前述したように、教員の多くは部活動の意義や価値を認めながらも、多くの問題や限界を感じながら指導していることがわかる。また、「運動部の指導に外部指導者の活用を図ることについて」は、保護者、顧問、管理職とも8割以上が活用すべきと回答、地域指導者の96・6％が協力したいと回答している。

　このことから、部活動の地域への移行と外部指導者の活用は、より一層進むと考えられるが、その必要条件として、指導者の指導能力と教育能力の高度化、指導体制の整備が不可欠と言える。

〈神奈川県の取り組み〉

　本県に於いては、既に数年前より、普及対策事業として練習会等は計画実施され、多くの成果を上げて来ている。しかし、近年の急激な諸情勢の変化に対応するための方策として、県協会と連携を図りながら、高体連（強化普及部）がその中核となり、本年度よりプロジェクト・チームを編成、本格的にその対策に着手している。

　本年度は、外部講師を招き、選手を対象とした練習法講習会等を実施した。更には、将来構想として底辺の拡大を目的とした、指導者登録（トレーナー・バンク）事業、指導者派遣（トレーナー・ベズーフ）事業の研究検討に入り、早期実施に向けて、現在、具体的な策定作業に取り組んでいる。

　その中でも、指導者養成の必要性は、今後の事業を占う意味でも重要な課題として挙げられている。

〈新しい時代に向けて〉

　前述したように、急激な社会の変化は、少子化、高齢化、生涯スポーツ時代の到来等を生み、これらの要因が複雑に交錯し、今後、学校教育・社会教育に於けるスポーツ活動に大きく影響を与えて行くと考えられる。日本に於けるスポーツの発展が、学校中心であった歴史的経緯はすぐに変化するとは考えにくいが、運動部活動においては、社会体育移行の動きを模索し、それとともに「チャンピオンシップ・スポーツ志向」、「レクリエーショナル・スポーツ志向」の二極分化の側面をもちながら、継続発展すると考えられる。

　いずれにしても、同時平行的に現存する指導者の資質と指導力の向上、新たなる指導者の発掘、指導体制の確立が図られていかなければ、多様化するニーズに答えることはできないし、将来的にスポーツの普及発展に寄与することは期待できないであろう。

　スポーツを愛する一指導者として、今後の日本ハンドボール界の、より一層の発展を祈って止まない。

スポーツ施設の質的充実と住民の視点に立った運営

～文部省生涯スポーツコンベンション'98より～

地域における企業スポーツ施設の住民利用

発表者・田井　豊（湧永製薬㈱広島事業所総務部長）

■施設の概要

当社は甲田町という広島から北に約50キロの中国山脈の山間部にある、人口6200人の町にございます。創業者が湧永満之と申しますけど、甲田町の出身という縁からここに研究所・工場を設けております。敷地は約2万坪で、約300名の社員が研究開発、製造に従事しております。敷地内に湧永満之記念体育館があり、ヨーロッパスタイルでハンドボールの専用になっています。特色はアリーナで、タラフレックスという床材で、観客席（400人収容）は、目線で観戦できるようフロアーの高さから階段式になっています。

トレーニングセンターでは、最近、社員の健康づくりという視点でもセンターを使い始めています。湧永フィットネスクラブと名付け、週1回ジャズダンス教室を開いており、家族も使用しています。地元の方についてはまだ行っていませんが、希望も出ており、今後どうするか、検討しているところです。

体育館はハンドボール以外でも、テニスや運動会とか、体育指導員の研修会等に使っていただいています。空いている時間を積極的にオープンされているケースもあるかもしれませんが、製薬会社ということで、さまざまな入退場の制約があり、会社が開業する場合とハンドボール競技を中心に開放しています。

■施設の活用状況

体育館は5つの分野で使用いただいています。まず、公式戦の会場として。ハンドボール日本リーグや広島県知事杯等です。平成8年の広島国体の際、ハンドボール少年男女の会場になりました。2つ目は、甲田町民を対象に月に1回、ハンドボール講習会を開催しています。ハンドボールに馴染んでいただき、楽しさを知っていただく目的で始めました。広島国体では民泊方式で高校生を受け入れましたので、町民の方はこの講習会を通してルールや面白さを知ったということで、大会も成功裡に終わったと伺っております。

次に、甲田町には小学校が3校あり、1校100人、3校で300人という児童数ですが、甲田町の教育委員会とタイアップして4年生以上を中心にハンドボール教室を開き、三校対抗戦を行っています。全日本選手が身近に来て話ができ、指導してもらえるということで、子どもさんにも父兄さんにも喜ばれています。この中から優秀な選手を表彰したり、全員に修了書を差し上げています。京都国体の後、公式ではありませんが、小学生の全国大会があり、毎年それに参加いたしております。

また広島国体の後、中学生を対

屋根でカラダを張る鉄。

雨、台風、嵐、暴風、雪・・・屋根が立ち向かうものを考えたら、最初にアタマに浮かぶようなものです。しかし、これだけではありません。例えば、家の中で起こった子供たちのケンカの声。外で走っている車の音などの騒音。そして、万が一の地震も・・・。毎日の

何気ない「平和」をつくってくれる屋根も、実は、日新製鋼のファインスティールでできているのです。鉄に頼もしいをプラスすれば、毎日はもっとほっとできると思う。ただの鉄の塊が人に近くなるとき、そこにファインスティール、そして日新製鋼がいるはずです。

鉄＋頼もしい＝ファインスティール、日新製鋼の仕事です。

日新製鋼株式会社　〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番地1号（新国際ビル） TEL03-3216-5511

象に、甲田町に中国地方の中学生を招待して、GFカップ選手権という交流会を開いています。Gはグリーン、Fはフルーツとフラワーの意味です。さらに大学生を中心に3日間から1週間、合宿を受け入れています。日体大、早稲田とか関東から来られる方が多いですね。昨年のインカレでは日体大が優勝しましたが、その前に私どもで1週間調整されての優勝でしたので、大変嬉しかったのを覚えています。

国際試合は年に1回ですが、国際親善試合を企画しております。外国人選手のプレーを目の当たりにする、世界の一流のプレーを見るという機会が非常に意義があるということから始めております。これまでスウェーデン、中国、韓国、昨年はロシアのナショナルチームもまいりまして親善試合をいたしました。昨年はハンドボール関係者にとりましては大きな年でして、熊本県で世界選手権がございました。これはヨーロッパ以外で初めてなんです。開催が。その優勝チームがロシアでございまして、私ども2日間お世話したんですけれども、大変感動したところでございます。

■成果および地域の評価

私ども企業としてはささやかな活動ですが、一応の評価というか成果をまとめてみます。まず、甲田町民のスポーツに対する関心が高まったという点です。特に小中学生を教えさせていただいていることを通して、子どもさん方が大きな声で挨拶が出来るようになったとか、いじめとか、学校でガラスを割るとか、そういうものがほとんど無くなり、爽やかな挨拶ができる子どもさんが多いということも聞いています。ある種の自信というか、プライドというか、そういうものが醸成されてきているようです。

それから社会スポーツと競技スポーツは違うと思いますけれども、私どもから見れば、競技者として立派な選手が育って欲しいという点もあります。スポーツの頂点を極めたいという学生さんも出てきておりますので、私たちにとっては嬉しいことと思っています。生涯スポーツを幅広く推進することも大切なことですが、日本のスポーツ界を国際的に見ますと競技力が落ちているということもございます。JOCの理事を仰せつかっている同僚の言葉を借りると、日本の競技力を上げていかないとスポーツ振興が進みにくいということを申しておりまして、スポーツを楽しんでいただくことと合わせて、レベルを上げていくという部分も大事かなと考えております。

■文化面での地域への関わり

スポーツ振興以外に、蔵書2万冊の図書館を公開しています。町に映画館がないものですから、春休みに親子の映画会を開催したり、工場の緑地を開放して、子どもの時から会社を見ていただいたり、事業所へ来ていただくということで地域の方と触れ合っております。また湧永満之記念庭園、約10年かけて社員が手作りで造った庭園ですが、春と秋に無料公開しています。こうしたことの共通のテーマは健康で長生き。製薬会社として施設を開放しながら、皆さんに健康で長生きしていただこうという目的でやっております。

■課題と今後の取り組み

体育施設の利用という点につきましては、まず、公の立場においては、既存の施設を活用されることが基本だと思いますけれど、甲田町のように公的施設がない場合は長期的視点で充実させていくことが必要です。企業の立場としては、施設を単に貸すだけでなく、安全に使っていただく配慮がいります。事故が起こると賠償責任というケースもありますので、賠償保険システムへの加入という手を打っています。

今後の取り組みとしては、地域に根ざした経営を継続する。国際性をお互いに認め合う。スポーツを通しての人づくりを推進する。この3点を課題に今後とも頑張っていきたいと思っております。

最強ジャパンのラインナップ。

asics

ダッシュ、ストップ、鋭いステップワークが必要なハンドボールで、
最もシューズに求めたい機能はグリップ性能。
そこで、今度のジャパンは吸いつくようなグリップ力に加え、
濡れたコートやホコリに強いウェットグリップラバーをソールに採用。
どの様なコート状態でも思い通りのプレーを可能にします。
伝統のジャパンがバージョンアップした。
ニッポンが誇れる最強ラインナップの誕生です。

Japan

品名 スカイハンド®ジャパンWG-S NEW
品番 THH713 メーカー希望小売価格 ¥16,500
カラー/(0123)ホワイト×㈱レッド・メタルゴールド
(0142)ホワイト×㈱ブルー・メタルゴールド
サイズ/22.5〜29.0cm
'97年3月発売予定

品名 スカイハンド®ジャパンWG-L NEW
品番 THH712 メーカー希望小売価格 ¥17,500
カラー/(0123)ホワイト×㈱レッド・メタルゴールド
(0142)ホワイト×㈱ブルー・メタルゴールド
サイズ/22.5〜29.0cm
'97年3月発売予定

本気なら、アシックス。

株式会社アシックス ●インターネットでシューズの情報を提供しています。http://www.asics.co.jp/
●®は㈱アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックスお客様相談室までどうぞ。
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL(078)303-2233(専用) 〒130-0013 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL(03)3624-1814(専用)・(03)3624-2221(大代表)

連載

レフェリングの事例集

元IHFレクチャー　光嶋　磯雄

3月号より5回にわたって連載してきましたレフェリング事例集も今回で最終回になります。今回は、実際にゲームを審判する際に、最も初心者がとまどう、笛を吹く時、吹かない時、そして笛の意味についてです。ゲームを生かすも殺すも笛次第といわれます。前回まで掲載しました70の事例と併せて、実際のゲームに生かせていただけたらと思います。最後に、経験に基づいた具体的な貴重な資料を提供していただいた光島先生に感謝いたします。

（編集委員会）

吹笛内容・特徴の説明

1　『禁じられた（決して吹いてはならないこととされる）笛』

「競技理念に反する吹笛」

違反行為をおかしていないチームに大きな不利益を与える結果となる吹笛。

【例1】

速攻あるいは同様の状態で進行中のクリアゴールチャンスとなっているにもかかわらず、防御側になんらかの違反行為または非スポーツ的行為があったとして、笛を吹いてしまう。

【例2】

同点の試合終了直前に、緑チームの速攻がはじまったが、その時レフェリーはシュートが行なわれる直前に、赤チームプレイヤーを退場にするため、試合中断の笛を吹いてしまった。そのレフェリーの吹笛の理由は、赤プレイヤーがクレームをつける言動をしたからとのこと。

【例3】

ゴールエリアからとび出してきた赤チームのゴールキーパーが、速攻で走ってきた緑チームのプレイヤーを9mライン付近で捕まえて押し倒した。その近くにノーマーク状態の緑プレイヤーがフォローしていたのに、レフェリーは違反摘発の笛を吹いた。レフェリー氏いわく「粗暴な非スポーツ的行為は直ちに罰するのが当然ではないか」とのこと。

◎競技理念に反する吹き方は、決してしてはならない。レフェリーは徹頭徹尾、競技理念に忠実に任務を果たすべきであり、場合によっては勝敗を左右することにもなるので、前記のようなことをやってしまえば、その威信は一瞬にして地に落ちてしまう。これさえなければレフェリングは上出来と認められよう。このようなレフェリングによって受難・被害者となるのは、試合に直接関係する者だけでなく、ハンドボール競技全体の大きな問題である。

2　『恥ずべきこととされる吹笛』

「プレイの流れを無意味に止めてしまう吹き方」

【例1】

攻撃プレイヤーがボール保持とボディコントロールを維持した状態でいるにもかかわらず、段階罰適用にもあたらぬ防御側の違反にも笛を吹いてしまう。

【例2】

赤チームプレイヤーがゴールエリアラインクロスしてシュートしたが、ボールは緑チームのゴールキーパーが確保し、直ちに自チームの速攻のため、パスアウトをした時、レフェリーは笛を吹き、赤チームのシューターにラインクロスありとして、緑チームにゴールエリアライン前からフリースローをするようにとの判定をしてしまった。

【例3】

ゴールエリア前にいる攻撃プレイヤーがボールをキャッチしたあと、相手プレイヤー2人からつかまれている。レフェリーはこれを見て、違反とする笛を吹いた。レフェリー氏いわく、「あれ以上に激しさを増大させてはならないと考えた」とのこと。この笛のおかげで防御側は体勢の組みたて直しが可能となってしまった。

◎誰もが知るとおり、ハンドボール競技はプレイヤーとレフェリーの精神的・身体的活動を基本としたプレイの流れのうえに成立している。この「ながれ」を円滑にしない・阻害する・足をひっぱるレフェリングは、ハンドボールにとって有害なものでしかない。その時の「吹笛」自体が、ルールにもとづいた根拠と説得力ある「裏付け」なしで吹かれると、単なる中断でなく、前述のようなマイナス面を見るようになる。このような吹き方では、試合はぐずついたものの、しらけたものとなってしまい、観客側としても興味を削ぐこと夥しい。レフェリーの厳正・中立ということは、試合中断の笛を吹く前に、次のような知識・素養が必要である。吹笛技術面から見て、「このような吹き方が当然」でないにもかかわらず、違反行為のないプレイヤー（チーム）に不利益を与えることにならないか？それが頭脳中にあれば、反射的に吹くことを、思い止まるようにする。さもなくば、無実の罪によって明らかな不利状態となるチームと、違反行為をレフェリーにタイミング良く吹いてもらったことで危機苦況を免れるという褒美を得る成り行きは、許されない。ルール文面によるだけでは、この種の充分な活用と判定は期待できない。

3　『不必要な笛』

「恥ずべき笛」とくらべて本質

的に状況は異なっている。この不必要で無意味な笛とは、試合の正常な流れにブレーキをかけてしまうことである。笛をいかに効果的に吹くかが試合運営の第一要件であり、「出来るだけ笛の回数を少なくすること」をレフェリングの最優先心得としての行動が期待される。

【例1】

フリースローをするプレイヤーが正しい位置に立ち、そのスローが遅延する気配も見られぬ状態でレフェリーは笛を吹いた。この理由が何であれ今後の成り行きで、同様の場面となれば、無意味・不必要な笛が吹かれることを期待するといったプレイ意識をもつようになるであろう。

【例2】

ボールがサイドライン外に出たときにレフェリーがルールに忠実に、常に笛を吹いてゼスチュアをする。その根拠はそうすることで勘違いや誤解を完全に防ぐ事が出来ると考えるからとのこと。

【例3】

レフェリーがなんらの必然性もないのにゴールスローの笛を吹いてしまう。例外もあるが、通常フリースロー・ゴールスロー・スローインには笛の合図は不可欠のものではない。

4 『試合状況に適応した笛の吹き方』（結果・影響を認識したうえでの吹き方）

◎違反行為をされているプレイヤーにとって不利益を生じていない状態では、レフェリーはこれを吹笛の対象としないようにしなければならない。試合を止めるか止めないかは、その時々の違反行為の成り行き・結果による。これは経験を通じての不偏不党の中立を守ることとして共通の格言である。違反行為をおかしているプレイヤーの思惑どおりになることは重大なことであり、従来ルール改正の歴史は大幅でないにせよ意義ある変遷をたどってきた。

クリアゴールチャンスを阻止するためにゴールエリア内に立ち入る行為を、7mスローとすること自体が、クリアゴールチャンスを没にしてしまっていると考えていなかったといえる。

レフェリーはその判定を正しいものとするために、ルール適用を考える立場として、この決定的最終場面の判定に責任を負って事実現象の成り行き・結果がクリアゴールチャンスに影響の有無を観察し判定出来なければならない。状況に対応する笛についての理解・見識を深めるため、ルール知識だけでなく、試合技術の実技の実地経験も必要である。本能的反射動作での笛とは逆の意味で、観察・判定に要する時間は限られている。まさに瞬間としか言いようのない速さで、レフェリーは状況変化の分析に要する時間を予測・先取り能力を働かせて縮小に努めれば、それによって得られる便利・利益は確実なものとなる。この意味からもハンドボールのレフェリーは、笛を口にくわえっぱなしで行動しないことが「不文律」となっている。

5 『必ず吹かねばならぬが、タイミングを考えての吹笛』

直ちに吹くことが是か、非か？レフェリーはどちらかに態度を決めなければならないが、いずれにせよ適正なタイミング・時機を外さないようにすることは、不首尾・不都合なタイミングの笛で状況を深刻化させなくてすむであろう。

「必ず吹くべきだが、それをどんなタイミングで吹くか？」

この特別かつ高度なレフェリーの技術的課題については、タイミングの選び方が初心者レフェリーと職人的かつ芸術家的存在のベテランレフェリーが示す顕著な相違として表れる。ルールではボール保持プレイヤーに3歩3秒のプレイ権利を認めている。

ハンドボール競技では、アドバンテージを優先する意義を認識するものだけが、試合運営上の障害を克服可能であり、そうすることではじめてレフェリーは、プレイヤー・観客から感謝されるようになる。あわてず、早合点せず、はやらまらず、などを脳中に刻み込んで！

6 『必ず即座に遅滞することなく吹くべき笛』

スローオフ・得点成功・7mスロー・ボール保持者のゴールエリア侵入・ゴールキーパーの違反・レフェリースロー・ボール操作上の違反・チーム役員の違反・第三者による試合中断（観客の立ち入り・会場の不備）・暴力行為・規則書に言及されていない非スポーツ行為・タイムアウト。

試合運営上のガイドラインとして挙げられるもの

1 出来るだけ笛を吹く回数を少なくして、しかも必要な時には遠慮せずに吹く。

2 笛を吹くこと自体が目的ではなく、試合中の行動の結果が問題である。

3 試合状況の展開進行の予測

国内合宿・海外遠征からご家族の旅行までなにからなにまで手配致します。

株式会社 エモック・エンタープライズ
運輸大臣登録一般旅行業第1144号
〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-4 Y・Kビル1F
TEL：03-3507-9777　FAX：03-3507-9771
一般旅行業取扱主任者　佐々木雅之

により、正しい判定をくだす余裕が保障される。

4　すべての場面にアドバンテージ思考を念頭に置くこと。

※付記

（ア）入念に考えた上での吹笛のつもりでも、時としては逆効果となることがある。

（イ）意識的に放任しているかに見えても、要点を確保しておれば試合運行上自然な巧みさがあらわれる。

（ウ）みだりに興奮しないこと（挑発にのせられぬよう心に余裕を持つこと）。

（エ）プレイヤーや役員の興奮をユーモア心で鎮静させること。

（オ）ミスジャッジをしたら最初の段階で率直な仕草で謝ること（つっぱらない）。

吹笛内容の特徴

【禁じられる笛】

競技理念に反する吹笛

違反をおかしていないチームに大きな不利益を与えてしまうことになる笛

〈例〉速攻又は類似の状態からのクリアゴールチャンスが防御側の違反又は非スポーツ行為があったとして笛が吹かれてしまう。

【恥ずべきとされる笛】

プレー・試合のながれを無意味に笛を吹いて止めてしまうことになる笛

〈例〉攻撃側がボール確保とボディコントロールを維持しているにもかかわらず段階罰適用にも相当しない程度の違反が防御側にあったとして笛が吹かれてしまう。ノーマーク状態でシュートされたボールをGKが直接確保したが、その時シューターのゴールエリアラインクロスがあったと笛を吹いてしまう。

【不必要な笛】

不必要・無意味・余計な笛

必ずしも試合のながれを阻害していない、がこのようなことは出来るだけ避ける方がよいとされる笛。

〈例〉フリースロー実施でスローするプレイヤーが正しい位置にいてそこにスローを妨害するような場面が見られないにもかかわらず相手チームの配置等を問題にして笛を吹き、改めてフリースローにしてしまう。

スローイン、フリースロー、ゴールスローを必要以外に吹いてしまう。

【状況推移を把握した上での吹笛】

結果影響を認識しての吹笛であること

違反行為をおかすプレイヤーの意図がどうあろうとも、その判定は行為の結果影響（相手に不利益をもたらしたかどうか？）の表れ方に応じてくだされる。

〈例〉ボール保持でないプレイヤーによるゴールエリア内への立ち入り。

【吹くべきであるが、必ずしも直ちに吹かないようにする笛】

笛を吹くタイミングをコントロールする。

いずれにせよ違反には笛は吹かれるべきであるがこの時レフェリーはアドバンテージを慎重に見極めてどんな時に吹くべきかを判断しなければならない。

〈例〉段階罰を適用すべき状態のアドバンテージを観察・看視して展開状況を予測しなければならない。ボールキープとボディコントロール・他のプレイヤーの位置。ボール保持プレイヤーには3歩3秒プレーをする権利がある。

【無条件に、直ちに吹くべきとされる笛】

遅滞逡巡することなく即座に吹くべき笛

状況の変化・推移にとらわれることなく直ちに吹くべき事例への笛。

〈例〉ボール保持プレイヤーがゴールエリア内に踏み込んだ時、得点を認めた後必ずタイムアウトをとらねばならぬ時、暴力行為発生時など。

［結び］

皆様の多大な御助力と御指導のおかげで、70の事例を挙げ浅学非才をかえりみず、説明を加えさせていただきました。文章体裁を平易なものにと思いながらも、事例やルールの性格上どうしても堅苦しさを避けることが難しく、結局かみしも付けた形となってしまい読む人の理解に遅速の差は免れないことと思いますが、いずれにせよルールは一つのものであり、一日も早く全プレイヤー・全トレイナー・全レフェリーの三者による見解の統一が実現して、ルールブックの巻頭に記されてあるハンドボールの統一理念により、レベル向上のテンポを早めるための一助としていただけるように念じております。今後、この事例集がもとになって、プレイヤー・トレイナー・レフェリー三者のみのりある討議が進められることを、心から願ってやみません。

フィールドはあなたのステージです！

大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田2-2-7　〒141-0022

TEL.03(3443)7171　FAX.03(3447)5844

OSAKI

平成10年度　第1回ハンドボール研究集会報告

「ボール運動教材としてのハンドボール」

１９９８年８月19日～20日

本年度より始まった標題の研究集会が、日本協会の主催行事として、日本体育協会、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会の後援をいただき、愛知県協会の角紘昭理事長を実行委員長に、新装なったばかりの名古屋市千種スポーツセンターで行われた。

立派な設備を持った体育館には、学校体育の現場を預かる教員から、小学生へのハンドボール指導に関心を持つ方を中心に、幅広い年齢層の方々が集まった。２日間で、延べ150人以上の参加者はみな、研究発表に熱心に耳を傾け、しっかりメモを取り、また、実技研修では思い切り体を動かし、まさに、体全身を使って研究集会に参加されていたのが印象的であった。また、今回の研修会には、「指導者の卵」ともいうべき大学生が、いろいろな大学から多数参加していたことも記しておきたい。

このような研究集会が、今後も続いていくように環境整備をすべきであるし、また、そのようになれば、ハンドボール界の将来に明るい材料を提供することになるのではないかと強く感じた。

最後に、小学生ハンドボールの指導実績20年以上の歴史を持つ、愛知県ハンドボール協会理事長（実行委員会委員長）の角紘昭氏をはじめ、今回の研究集会のためにご尽力下さった関係各位に心から御礼申し上げます。

《内容報告》

◎第1日目（8月19日）

(1)研究発表（12時50分～14時00分）

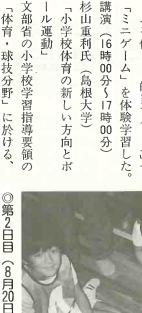
①小林和子氏（山形県長井市立長井南中学校）
　ハンドボールのゲームの教材づくりについて

②脇野哲郎氏（新潟大学教育人間科学部附属新潟小学校）
　子どものかかわり合いを大切にしたミニハンドボールの授業

③澤田　浩氏（長野県佐久市立立科小学校）
　ランニングハンドボール（2年）の授業づくり

④清水宣雄氏（国際武道大学）
　ボール・キャッチの初心者指導

(2)実技研修（14時15分～15時45分）
　愛知県ハンドボール協会の小学生ハンドボール指導者の方々による、小学生期のハンドボール指導法の実技研修（参加者でチームを作り、「的当てゲーム」や「ミニゲーム」を体験学習した。

(3)講演（16時00分～17時00分）
　杉山重利氏（島根大学）
　「小学校体育の新しい方向とボール運動」
　文部省の小学校学習指導要領の「体育・球技分野」に於ける、その狙いと問題点、そして今後の課題についてわかりやすく説明して下さった。

◎第2日目（8月20日）

(1)授業提案（9時30分～11時00）

①泉　千恵氏（名古屋市立常磐小学校）
　対象・小学校3年生男女児童
　内容・ゲーム領域（ボールゲーム）
　準備運動→的当てゲーム→ミニゲーム→まとめ
　本時・6時間完了の単元計画のうちの3時間目の授業
☆準備運動の段階から、よく考え、練られた授業であった。児童は楽しいのか、終始非常に積極的であった。

②筒井孝行氏（名古屋市立西城小学校）
　対象・小学校5年生男女児童
　内容・ボール運動領域
　準備運動→作戦タイム→チーム練習→ゲーム→作戦タイム→ゲーム→反省→まとめ
　本時・7時間完了の単元計画のうちの6時間目の授業
☆サッカーのミニゲーム用のゴール（高さ1m×幅2m）を用い、1チーム4人（男2、女2）でミニゲームを行った。ゴールの高さが1mしかないため、ゴールキーパーへの顔面シュートの危険が少なく、女子でもゴールキーパーをやることができるなど、誰でも楽しく行うことができるゲームであった。

(2)講義
　土井秀和氏（大阪教育大学）
☆(1)の「授業提案」に関する考察（ディスカッション）
☆「ボール運動教材としてのハンドボール」の講義

第49回五大都市体育大会　ハンドボール競技

小西　博喜（大会委員長）

京都祇園祭の前哨戦ともいうべき第49回大会は、ハンドボールの場合、男子が14回から、女子は32回から加入したが、本大会は半世紀の歴史を持つ故秩父宮妃殿下の下賜旗で始まった大会として、由緒ある大会であり、友好親善の主旨を全うする大会として今日に至っている。

男子は、各都市とも若返りを狙い、得点の取れる若手をつぎ込み随所に好プレーを展開し、例年にない大会の新鮮さが見られた。優勝した京都はスロースタートではあったが、決勝の名古屋戦では、技巧派の京都、若さと力を見せた名古屋は対照的に一瞬のスキを与えない、ミスが許されない好ゲームは印象的。昨年に続いて安定した実力で個人技を発揮して優勝。一方、女子は名古屋の洗練されたプレーは他都市を危なげなく圧倒し、他を寄せつけなかった。選手層の厚さを物語っているといえる。

ハンドボール競技の順位は以下の通り。

男子　①京都市　②名古屋市　③大阪市・神戸市　⑤横浜市

女子　①名古屋市　②京都市　③大阪市・神戸市　⑤横浜市

開会式では、永年の功労者として次の方が表彰され、感謝状も授与された。

◆**特別功労者**　尾島良一（横浜市）　河野好史（名古屋市）　山中善之佑（大阪市）　林佳弘（京都市）　西澤倫雄（神戸市）

◆**感　謝　状**　矢野伸子（名古屋市）　西園友英（神戸市）　山田稔（大阪市）　須見政則（横浜市）

翌年の第50回大会は、大阪市の開催が予定されている。

WHM（ワールド・ハンドボール・マガジン：IHFの機関紙）に日本関連記事が3件掲載される

～1998年度第2号より～

ＩＨＦ（国際ハンドボール連盟）の公式機関紙であるWHM（ワールド・ハンドボール・マガジン）の最新号（1998年度第２号）に３人の日本人が登場しているのをご存知だろうか。

一人は、渡邊佳英副会長で、ＶＯＫ（ＣＯＣ・国際競技運営委員会）の仕事内容を紹介する中で、ＶＯＫ（ＣＯＣ）の一員として紹介されており、もう一人は、女子ナショナルの選手主将、上出恵美子さんである。彼女は、最終面に、1997年度女子世界選手権大会（開催国・ドイツ）に於ける試合中の写真で登場している。

そして、最後のもう一人は、日本ナショナル監督の蒲生晴明氏であり、こちらは、各大陸便りの中の、「アジア大陸」割り当て分の２ページ殆ど全部を使ったインタビュー記事での登場となる。

日本ナショナルチーム監督・蒲生晴明氏のインタビュー記事を読んでみると、例えば、記者の「熊本の世界選手権大会での日本ナショナルチームは非常に良い印象を受けたが、現在はどうなのか」という質問に対して、蒲生監督は、「世界選手権では、少なくとも欧州列強と肩を並べられたが、現時点では（欧州遠征とベルシー・トーナメントを見る限りでは）同じレベルとは言えない。我々は全力をあげて強化していかなくてはならない」と答えている。

また、記者の「日本ナショナルチームの最大の問題点は」との問いに対しては、「我々は、大きな欧州人に比べて体格的に劣っているし、これを変えることはできない。しかし、選手たちの筋肉強度はトレーニングにより高められてきた。足りないのはスピードである。そのために、我々は年に２回は欧州に来たい」と、欧州でのテストマッチの重要性を指摘している。

更に「日本ナショナルチームは、スウェーデン（欧州）出身のオレ・オルソン監督から日本人の蒲生監督に代わり、日本のハンドボールに良い効果をもたらしたか」という質問には、「…欧州では、監督は世界選手権（世界大会）で勝つことを義務付けられているが、そのような欧州ハンドボール界の流れは、（オレ・オルソン前監督と同じ）スウェーデンから、日本ナショナル・コーチとして来ている、スタニスラフ・コワルスキーから伝えられている」と答えた。

記者の最後の質問である、「日本の次の目標は何か」に対して、蒲生監督は、「我々は、何が何でもシドニー・オリンピックに出たい。1992年と1996年のオリンピックで、我々は出場を果たしてないからだ。しかしながら、アジアでの競争は激化の道をたどっている。韓国、中国、サウジアラビア、そしてクウェートが2000年のシドニー・オリンピックを狙っている。シドニー行きを決めるための予選は、非常に厳しい戦いになるだろう」と、決意の程を述べている。

考えてみれば、最近、日本は国際舞台で取り上げられる事が少なくなっていただけに、ＩＨＦ公式機関紙であるWHMの前号に掲載された日本ナショナルチーム・ゴールキーパー橋本行弘選手に続き、蒲生監督へのインタビューなど合計３件にものぼる日本人の活躍の報道は頼もしい限りではないだろうか。それと同時に、今後、日本から如何にして世界の舞台で活躍できる人材を輩出していけるかを、検討していくべき時期にきているのではないだろうかと感じた。

機関誌原稿寄稿募集

この度、機関誌編集委員会では日本協会機関誌に掲載する「日本ハンドボール界発展に貢献すると思われる建設的かつ、発展的なご意見、ご提案」を大々的に募集いたします。また、各地で実践している活動報告なども大歓迎です。寄稿要項は以下の通りです。奮ってご参加下さい。

①掲載は署名入りとして、所属県もしくは所属団体を明記して下さい。（匿名はご遠慮下さい）

②内容は建設的で、発展性のあるもので、第三者を中傷したりしないものに限らせていただきます。

③写真掲載を希望される場合は同封して下さい。尚、写真の選定につきましては編集委員会にお任せ下さい。また、写真返却の都合上、写真裏には必ず、氏名をご記入ください。

④字数は2000字（機関誌１ページ分）を限度と致します。

⑤原稿は郵送またはＦＡＸにてお願いいたします。郵送の場合の原稿の返却は行いません。

郵送の場合；

〒150-8050　東京都渋谷区神南１丁目１番１号

岸記念体育館内　　（財）日本ハンドボール協会

機関誌編集委員会　宛

ＦＡＸの場合；

03-3481-2367（機関誌編集委員会と明記してください）

⑥機関誌をお送りするため、原稿送付時に機関誌送付先（住所，電話番号，ＦＡＸ番号等）を明記してください。

原稿作成上の注意点

- 「大見出し；表題」は必ず付けてください。
- 文章の語尾は、「‥‥です、‥‥ます」または「‥‥である」で統一してください。
- 原則として、原文に忠実に掲載いたしますが、意味不明な部分や、表現、語尾に不統一な部分が見られる場合には、編集委員会の責任において修正させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 記事の書式は自由ですが、手書き、もしくはワープロ等で作成して下さい。手書きの場合は楷書体でていねいにお書き下さい。

『60周年記念誌』が出来上がりました

右に掲げた振替用紙の見本に従ってお申込みください

払込取扱票

口座番号 00120-7 10293

金額 ¥6000

加入者名 財団法人 日本ハンドボール協会

料金 120

通信欄
財団法人日本ハンドボール協会
創立60周年誌代金
頒布価格 5000円　消費税＋送料 1000円
合計 6000円

払込人住所氏名
150-0041
東京都渋谷区神南1-1-1
送球花子
03-3481-2361

受付局日附印

払込票

口座番号 00120-7 10293

加入者名 財団法人日本ハンドボール協会

金額 ¥6000

払込人住所氏名
150-0041
渋谷区神南1-1-1
送球花子

料金　円

受付局日附印

特殊取扱

切り取らないで郵便局にお出しください。

喜井美雄国際担当常務理事が事務局総局長に着任

去る9月7日より、国際担当常務理事の喜井美雄氏（本田技研鈴鹿）が（財）日本ハンドボール協会事務局総局長として着任いたしました。

これは、日本協会の業務課題が益々多大となり、現状の事務局員ではまかないきれなくなっていることに対応するため、喜井氏の誠意と本田技研のご厚意によって実現したものです。

ご存じの方も多いと思いますが、喜井氏は、本田技研鈴鹿でご活躍の後、男子ナショナルチームコーチを歴任されるなど、ハンドボールのキャリアも素晴らしいものを持っておられます。本年度よりは、本田技研などでの国際経験を買われ、国際担当常務理事に就任されております。今後は、事務局に於いて益々重要になってきた国際関係を中心に、事務局総局長としてご活躍いただきます。

全国の皆様にお知らせすると共に、益々のご支援をお願いいたします。

10月の行事予定

10月1日～1月24日　第23回日本リーグ（前期）　全国各地（機関誌389号参照）
10月25日～29日　第53回国民体育大会　横浜文化体育館ほか
10月17日　常務理事会
10月24日　全国理事長会議（横浜市）

HAND BALL CONTENTS OCTOBER

シャンピアホテル名古屋
〒460-0003 名古屋市中区錦2-20-5　☎052(203)5858代表
●交通　地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

シャンピアホテル大阪
〒530-0052 大阪市北区南扇町6-23　☎06(312)5151代表
●交通　新幹線新大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分（阪神高速）大阪駅から扇町まで徒歩12分

興奮をやすらぎに……
シャンピアホテルグループ

設備のご案内 ●ミーティングルーム●全自動洗濯機・乾燥機設置●VHSビデオ設置

★スポーツ団体特別料金制度をご利用ください。

●シャンピアホテル赤坂 ●シャンピアホテル青山 ●シャンピアホテル防府

東レエンタープライズ株式会社

柔らかな感触で、最適なバウンド！

PKCH3-AD DX
5,500円

new

PKCH2-AD DX
5,400円

PKCH1-ADJ
3,600円

手縫い・国際公認球

PKCH3-AD
4,600円

PKCH2-AD
4,500円

PKCH2-ADR
2,700円

PKCH3-ADR
2,800円

明星ゴム工業株式会社

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第三九十号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十年九月二十六日印刷 平成十年十月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 市原則之
価格は登録金に含む

私たちにNOという商品はありません。

製品から、さまざまな仕組みやノウハウまで、
私たちは目に見えない商品もお届けしています。
国や産業という垣根も越えて、
用意している答えはいつでも、YES。
私たちは国際総合企業、ITOCHUです。

豊かさを担う責任。
伊藤忠商事株式会社

Visit our Internet site at http://www.itochu.co.jp